

2023 年度(令和 5 年度)版

水質試験報告書

(2022. 4. 1～2023. 3. 31)

福山市上下水道局

目 次

検査項目及び単位	1
----------	---

第一編 上水道

1 概 要	4
2 浄水場定期検査結果	
(1) 水質基準項目・水質管理目標設定項目及びその他の項目	6
(2) 農薬検査結果	22
(3) 生物検査結果	32
(4) 毎日検査結果	33
3 市内毎日検査結果	34
4 水道 GLP(水道水質検査優良試験所規範)について	35

第二編 工業用水道

1 概 要	38
2 経年変化	40
3 水質検査結果	41

第三編 水源の水質

1 章 芦田川流域	
1-1 概 要	44
1-2 経年変化	46
1-3 水質検査結果	49
1-4 生物検査結果	51
2 章 芦田川河口堰	
2-1 概 要	52
2-2 経年変化	54
2-3 水質検査結果	56
2-4 生物検査結果	57

第四編 各種試験

1 水源汚染(汚濁)事故	60
2 市民の請求による給水栓水水質検査	62
3 依頼による水質検査	62

APPENDIX

1 水道水の水質基準	64
2 水質汚濁に係る環境基準	67
3 環境基準水域類型指定	70
4 機構及び水質管理センター事務分掌	71

検査項目及び単位

水質基準項目

項目名		単位
1	一般細菌	n/mL
2	大腸菌	—
3	カドミウム及びその化合物	mg/L
4	水銀及びその化合物	mg/L
5	セレン及びその化合物	mg/L
6	鉛及びその化合物	mg/L
7	ヒ素及びその化合物	mg/L
8	六価クロム化合物	mg/L
9	亜硝酸態窒素	mg/L
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L
12	フッ素及びその化合物	mg/L
13	ホウ素及びその化合物	mg/L
14	四塩化炭素	mg/L
15	1,4-ジオキサン	mg/L
16	シス-1,2-ジクロロエチレン 及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L
17	ジクロロメタン	mg/L
18	テトラクロロエチレン	mg/L
19	トリクロロエチレン	mg/L
20	ベンゼン	mg/L
21	塩素酸	mg/L
22	クロロ酢酸	mg/L
23	クロロホルム	mg/L
24	ジクロロ酢酸	mg/L
25	ジブromクロロメタン	mg/L
26	臭素酸	mg/L
27	総トリハロメタン	mg/L
28	トリクロロ酢酸	mg/L
29	ブromジクロロメタン	mg/L
30	ブromホルム	mg/L
31	ホルムアルデヒド	mg/L
32	亜鉛及びその化合物	mg/L
33	アルミニウム及びその化合物	mg/L
34	鉄及びその化合物	mg/L
35	銅及びその化合物	mg/L
36	ナトリウム及びその化合物	mg/L
37	マンガン及びその化合物	mg/L
38	塩化物イオン	mg/L
39	カルシウム, マグネシウム等(硬度)	mg/L
40	蒸発残留物	mg/L
41	陰イオン界面活性剤	mg/L
42	ジェオスミン	mg/L
43	2-メチルイソボルネオール	mg/L
44	非イオン界面活性剤	mg/L
45	フェノール類	mg/L
46	有機物	mg/L
47	pH値	—
48	味	—
49	臭気	—
50	色度	度
51	濁度	度

水質管理目標設定項目

項目名		単位
1	アンチモン及びその化合物	mg/L
2	ウラン及びその化合物	mg/L
3	ニッケル及びその化合物	mg/L
4		
5	1,2-ジクロロエタン	mg/L
6		
7		
8	トルエン	mg/L
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/L
10	亜塩素酸	mg/L
11		
12	二酸化塩素	mg/L
13	ジクロロアセトニトリル	mg/L
14	抱水クロラール	mg/L
15	農薬類	—
16	残留塩素	mg/L
17	カルシウム, マグネシウム等(硬度)	mg/L
18	マンガン及びその化合物	mg/L
19	遊離炭酸	mg/L
20	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L
21	メチル-tert-ブチルエーテル	mg/L
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/L
23	臭気強度(TON)	—
24	蒸発残留物	mg/L
25	濁度	度
26	pH値	—
27	腐食性(ランゲリア指数)	—
28	従属栄養細菌	n/mL
29	1,1-ジクロロエチレン	mg/L
30	アルミニウム及びその化合物	mg/L
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及び ペルフルオロオクタン酸(PFOA)	mg/L

その他の項目

項目名	単位
アンモニア態窒素	mg/L
溶存酸素(DO)	mg/L
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L
化学的酸素要求量(COD)	mg/L
浮遊物質(SS)	mg/L
総窒素(T-N)	mg/L
有機態窒素	mg/L
総リン(T-P)	mg/L
溶解性総リン	mg/L
オルトリン酸態リン	mg/L
溶解性オルトリン酸態リン	mg/L
生物	個/mL
総酸度	mg/L
総アルカリ度	mg/L
カルシウムイオン	mg/L
マグネシウムイオン	mg/L
電気伝導率	mS/m
硫酸イオン	mg/L
硝酸態窒素	mg/L
溶性ケイ酸	mg/L
カリウム	mg/L
クロロフィルa	μ g/L
トリハロメタン生成能	mg/L
嫌気性芽胞菌	n/100mL
大腸菌(原水)	MPN/100mL
大腸菌(河川水)	CFU/100mL
クリプトスポリジウム・ジアルジア(原水)	n/10L
クリプトスポリジウム・ジアルジア(浄水)	n/20L
農薬(115項目)	mg/L
気温・水温	°C

1. 試験分析方法は、

厚生労働省告示第261号、第318号及び上水試験方法(日本水道協会)、工業用水試験方法(JISK0101)、工場排水試験方法(JISK0102)、河川水質試験方法(案)(国土交通省水質連絡会)、EPA法等に準拠して行っています。

2. 試験分析結果がそれぞれの項目で定めた定量下限値より小さい場合、定量下限値未満と表示しました。

[例: 四塩化炭素 <0.0002]

第一編

上水道

1 概要

福山市の上水道は、1925年(大正14年)の熊野貯水池を水源とした佐波浄水場の給水開始以来、90年以上の歴史を持っています。この間、給水量の増加に伴い過去5回の拡張事業を行っており、現在、第六期拡張事業を進めています。2022年度(令和4年度)末現在では上水道204,770m³/日の配水が可能となっています。

■ 第一期拡張事業 1935～1936年(昭和10～11年)

給水量の増加により熊野貯水池だけでは水量不足となったため、草戸町にポンプ所を設け、芦田川の伏流水を取水する施設を建設し、佐波浄水場の配水能力を10,000m³/日としました。

■ 第二期拡張事業 1951～1955年(昭和26～30年)

戦後の復旧に伴い給水戸数が増加したため、芦田川と高屋川の合流点下流の右岸に3基の井戸を設け、佐波浄水場の配水能力を20,000m³/日としました。

■ 第三期拡張事業 1953～1965年(昭和28～40年)

本庄町出原地先の芦田川河川敷に設けた浅井戸6基を水源とした出原浄水場を建設し、最大55,000m³/日の給水を可能としました。第二期拡張事業までの施設は老朽化のため1998年(平成10年)3月に廃止しました。

■ 第四期拡張事業 1964～1972年(昭和39～47年)

日本鋼管(株)福山製鉄所(現JFEスチール(株)西日本製鉄所)の誘致に伴う飛躍的な人口の増加に対応し、最大給水量を55,000m³/日から105,000m³/日とするため、芦田川表流水を水源とした中津原浄水場を建設しました。

■ 第五期拡張事業 1972～1978年(昭和47～53年)

第四期拡張事業の施工中に、計画を大きく上回る配水量を記録したため、中津原浄水場の配水能力を50,000m³/日から100,000m³/日へと増強し、最大給水量を155,000m³/日としました。

■ 第六期拡張事業 1977年～(昭和52年～)

第五期拡張事業に引き続き、安定給水及び未普及地域の解消に対応するため、八田原ダム完成に伴う水源の確保、千田浄水場の建設、浄水場の統廃合など、現在は第六期拡張事業四次分を行っています。千田浄水場では、2004年度(平成16年度)より46,600m³/日を給水しています。

2009年度(平成21年度)には、芋原簡易水道事業、山野簡易水道事業を廃止し、福山市上水道に統合しました。また、2010年度(平成22年度)より出原浄水場の耐震化及び処理方法の変更に伴う更新事業を実施し、2016年(平成28年)4月より供用を開始しています。

2020年度(令和2年度)には計画に基づき、熊野浄水場を廃止しました。

上水道の施設能力 [2022 年度末(令和 4 年度末)現在]

単位 : m³/日

浄水場	水源	水源種別	配水能力	処理方法
出原浄水場	出原	伏流水	38,600	前塩素 → 凝集 → 急速ろ過 → 後塩素
中津原浄水場	三川ダム 八田原ダム	表流水	100,000	(前塩素) → 凝集沈殿 → 中間塩素 → 急速ろ過 → 後塩素
千田浄水場	三川ダム 八田原ダム	表流水	46,600	(前塩素) → 凝集沈殿 → 中間塩素 → 急速ろ過 → 後塩素
福田浄水場	福田	地下水(浅井戸)	6,000	前塩素 → 凝集 → 急速ろ過 → 後塩素
芋原浄水場	芋原	表流水	70	緩速ろ過 → 後塩素
山野浄水場	山野	地下水(浅井戸)	500	前塩素 → 凝集 → 急速ろ過 → 後塩素
浄水受水	県用水	受水	13,000	広島県沼田川水道用水供給事業 (機織・高西・内海・沼隈地区)
合計			204,770	

福田浄水場

		給水栓(新市町)			
		平均	最高	最低	回数
水質基準項目	1 一般細菌	0	1	0	12
	2 大腸菌	不検出(12)			
	3 カドミウム及びその化合物	<0.0003	<0.0003	<0.0003	4
	4 水銀及びその化合物	<0.00005	<0.00005	<0.00005	4
	5 セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	6 鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	7 ヒ素及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	8 六価クロム化合物	<0.002	<0.002	<0.002	4
	9 亜硝酸態窒素	<0.004	<0.004	<0.004	12
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.42	0.59	0.26	12
	12 フッ素及びその化合物	0.26	0.29	0.24	12
	13 ホウ素及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	4
	14 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4
	15 1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	4
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	4
	17 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	18 テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	20 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	21 塩素酸	0.07	0.12	<0.06	12
	22 クロロ酢酸	<0.002	<0.002	<0.002	4
	23 クロロホルム	0.002	0.005	<0.001	4
	24 ジクロロ酢酸	<0.002	<0.002	<0.002	4
	25 ジブロモクロロメタン	0.003	0.005	0.002	4
	26 臭素酸	<0.001	<0.001	<0.001	4
	27 総トリハロメタン	0.009	0.016	0.004	4
	28 トリクロロ酢酸	<0.002	<0.002	<0.002	4
	29 ブロモジクロロメタン	0.003	0.006	0.002	4
	30 ブロモホルム	<0.001	<0.001	<0.001	4
	31 ホルムアルデヒド	<0.008	<0.008	<0.008	4
	32 亜鉛及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	4
	33 アルミニウム及びその化合物	0.008	0.010	0.007	4
	34 鉄及びその化合物	<0.01	0.01	<0.01	4
	35 銅及びその化合物	<0.01	0.01	<0.01	4
	36 ナトリウム及びその化合物	10.8	11.6	10.3	4
	37 マンガン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	38 塩化物イオン	8.0	9.3	7.3	12
	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	36.4	37.1	35.7	4
	40 蒸発残留物				
	41 陰イオン界面活性剤				
	42 ジェオスミン	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	43 2-メチルイソボルネオール	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	44 非イオン界面活性剤				
	45 フェノール類				
	46 有機物	0.4	0.6	0.3	12
	47 pH値	7.1	7.2	6.9	12
	48 味	異常なし(12)			
	49 臭	異常なし(12)			
	50 色度	<0.5	<0.5	<0.5	12
51 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12	
水質管理目標設定項目	1 アンチモン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	2 ウラニウム	0.0003	0.0004	0.0003	4
	3 ニッケル	<0.002	<0.002	<0.002	4
	4				
	5 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	4
	6				
	7				
	8 トルエン	<0.04	<0.04	<0.04	4
	9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)				
	10 亜塩素酸	<0.06	<0.06	<0.06	12
	11				
	12 二酸化塩素				
	13 ジクロロアセトニトリル	<0.001	<0.001	<0.001	4
	14 抱水クロラール	<0.002	<0.002	<0.002	4
	15 農薬				
	16 残留塩素	0.4	0.5	0.4	12
	17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	36.4	37.1	35.7	4
	18 マンガン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 遊離炭酸	5.4	5.8	5.2	4
	20 1,1,1-トリクロロエタン	<0.03	<0.03	<0.03	4
	21 メチルセブチルエーテル(MTBE)	<0.002	<0.002	<0.002	4
22 有機物等(KMnO4)					
23 臭気強度(TON)	<1	<1	<1	12	
24 蒸発残留物					
25 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12	
26 pH値	7.1	7.2	6.9	12	
27 腐食性(ランゲリア指数)	-1.8	-1.6	-2.0	4	
28 従属栄養細菌	3	7	0	4	
29 1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	4	
30 アルミニウム及びその化合物	0.008	0.010	0.007	4	
31 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタニル酸(PFOA)					
その他の項目	水温	16.4	31.2	2.3	12
	水温	19.4	28.2	10.3	12
	アンモニア態窒素				
	紫外線吸光度				
	浮遊物質				
	総酸度	6.2	6.5	5.9	4
	総アルカリ度	37.9	42.0	35.2	4
	カルシウムイオン	11.5	11.8	11.3	4
	電気伝導率	13.7	14.6	13.2	12
	大腸菌[M P N]				
	硫酸イオン	11.5	14.0	10.5	12
リオン					
嫌気性芽胞菌					
クリプトスポリジウム					
ジアリジ					

芋原浄水場

		給水栓(加茂町)			
		平均	最高	最低	回数
水質基準項目	1 一般細菌	0	2	0	12
	2 大腸菌	不検出(12)			
	3 カドミウム及びその化合物	<0.0003	<0.0003	<0.0003	4
	4 水銀及びその化合物	<0.00005	<0.00005	<0.00005	4
	5 セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	6 鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	7 ヒ素及びその化合物	0.003	0.005	0.002	4
	8 六価クロム化合物	<0.002	<0.002	<0.002	4
	9 亜硝酸態窒素	<0.004	<0.004	<0.004	12
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.23	0.36	0.10	12
	12 フッ素及びその化合物	0.07	0.16	<0.05	12
	13 ホウ素及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	4
	14 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4
	15 1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	4
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	4
	17 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	18 テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	20 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	21 塩素	0.11	0.39	<0.06	12
	22 クロロ酢酸	<0.002	<0.002	<0.002	4
	23 クロロホルム	0.030	0.043	0.013	4
	24 ジクロロ酢酸	0.015	0.017	0.010	4
	25 ジブロモクロロメタン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	26 臭素	<0.001	0.001	<0.001	4
	27 総トリハロメタン	0.035	0.049	0.016	4
	28 トリクロロ酢酸	0.022	0.027	0.013	4
	29 ブロモジクロロメタン	0.005	0.006	0.003	4
	30 ブロモホルム	<0.001	<0.001	<0.001	4
	31 ホルムアルデヒド	<0.008	<0.008	<0.008	4
	32 亜鉛及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005	4
	33 アルミニウム及びその化合物	0.006	0.010	<0.005	4
	34 鉄及びその化合物	0.01	0.02	<0.01	4
	35 銅及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	4
	36 ナトリウム及びその化合物	6.3	6.7	6.1	4
	37 マンガン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	38 塩化物イオン	4.9	7.6	4.3	12
	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	28.9	33.0	25.7	4
	40 蒸発残留物				
	41 陰イオン界面活性剤				
	42 ジェオスミン	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	43 2-メチルイソボルネオール	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	44 非イオン界面活性剤				
	45 フェノール類				
	46 有機物	1.3	1.7	0.9	12
	47 pH値	7.7	7.9	7.6	12
	48 味	異常なし(12)			
	49 臭気	異常なし(12)			
	50 色度	1.1	1.6	0.8	12
51 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12	
水質管理目標設定項目	1 アンチモン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	2 ウラニウム	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4
	3 ニッケル	<0.002	<0.002	<0.002	4
	4				
	5 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	4
	6				
	7				
	8 トルエン	<0.04	<0.04	<0.04	4
	9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)				
	10 亜塩素酸	<0.06	<0.06	<0.06	12
	11				
	12 二酸化塩素				
	13 ジクロロアセトニトリル	0.002	0.003	0.002	4
	14 抱水クロラール	0.006	0.009	0.002	4
	15 農薬				
	16 残留塩素	0.5	0.7	0.2	12
	17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	28.9	33.0	25.7	4
	18 マンガン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 遊離炭酸	1.0	1.2	0.8	4
	20 1,1,1-トリクロロエタン	<0.03	<0.03	<0.03	4
	21 メチルセブチルエーテル(MTBE)	<0.002	<0.002	<0.002	4
22 有機物等(KMnO4)					
23 臭気強度(TON)	<1	<1	<1	12	
24 蒸発残留物					
25 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12	
26 pH値	7.7	7.9	7.6	12	
27 腐食性(ランゲリア指数)	-1.5	-1.1	-1.8	4	
28 従属栄養細菌	5	20	0	4	
29 1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	4	
30 アルミニウム及びその化合物	0.006	0.010	<0.005	4	
31 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)					
その他の項目	気温	16.8	27.1	5.1	12
	水温	17.3	27.7	8.3	12
	アンモニア態窒素				
	紫外線吸光度				
	浮遊物質				
	総酸度	1.1	1.3	0.9	4
	総アルカリ度	29.3	31.0	25.3	4
	カルシウムイオン	7.8	8.8	7.0	4
	電気伝導率	9.9	13.2	8.8	12
	大腸菌[M P N]				
	硫酸イオン	7.1	16.8	5.1	12
リオン					
嫌気性芽胞菌					
クリプトスポリジウム					
ジアリジ					

山野浄水場

		給水栓(山野町)			
		平均	最高	最低	回数
水質基準項目	1 一般細菌	0	2	0	12
	2 大腸菌	不検出(12)			
	3 カドミウム及びその化合物	<0.0003	<0.0003	<0.0003	4
	4 水銀及びその化合物	<0.00005	<0.00005	<0.00005	4
	5 セレン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	6 鉛及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	7 ヒ素及びその化合物	0.002	0.002	0.001	4
	8 六価クロム化合物	<0.002	<0.002	<0.002	4
	9 亜硝酸態窒素	<0.004	<0.004	<0.004	12
	10 シアン化物イオン及び塩化シアン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.62	2.11	0.17	12
	12 フッ素及びその化合物	0.10	0.11	0.08	12
	13 ホウ素及びその化合物	<0.05	<0.05	<0.05	4
	14 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4
	15 1,4-ジオキササン	<0.005	<0.005	<0.005	4
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	4
	17 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	18 テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	20 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	21 塩素	0.06	0.17	<0.06	12
	22 クロロ酢酸	<0.002	<0.002	<0.002	4
	23 クロロホルム	0.003	0.005	0.001	4
	24 ジクロロ酢酸	0.002	0.003	<0.002	4
	25 ジブロモクロロメタン	0.003	0.004	0.002	4
	26 臭素	<0.001	<0.001	<0.001	4
	27 総トリハロメタン	0.009	0.015	0.005	4
	28 トリクロロ酢酸	<0.002	0.002	<0.002	4
	29 ブロモジクロロメタン	0.003	0.006	0.002	4
	30 ブロモホルム	<0.001	<0.001	<0.001	4
	31 ホルムアルデヒド	<0.008	<0.008	<0.008	4
	32 亜鉛及びその化合物	<0.005	0.005	<0.005	4
	33 アルミニウム及びその化合物	0.008	0.010	0.007	4
	34 鉄及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	4
	35 銅及びその化合物	0.02	0.03	0.02	4
	36 ナトリウム及びその化合物	6.8	7.2	6.2	4
	37 マンガン及びその化合物	<0.001	<0.001	<0.001	4
	38 塩化物イオン	8.0	13.3	5.4	12
	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	52.1	55.6	48.9	4
	40 蒸発残留物				
	41 陰イオン界面活性剤				
	42 ジェオスミン	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	43 2-メチルイソボルネオール	<0.000001	<0.000001	<0.000001	4
	44 非イオン界面活性剤				
	45 フェノール類				
	46 有機物	0.5	0.7	0.3	12
	47 pH	7.1	7.3	6.9	12
	48 味	異常なし(12)			
49 臭	異常なし(12)				
50 色度	<0.5	0.6	<0.5	12	
51 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12	
水質管理目標設定項目	1 アンチモン	<0.002	<0.002	<0.002	4
	2 ウラニウム	<0.0002	<0.0002	<0.0002	4
	3 ニッケル	<0.002	<0.002	<0.002	4
	4				
	5 1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	4
	6				
	7				
	8 トルエン	<0.04	<0.04	<0.04	4
	9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)				
	10 亜塩素酸	<0.06	<0.06	<0.06	12
	11				
	12 二酸化塩素				
	13 ジクロロアセトニトリル	<0.001	<0.001	<0.001	4
	14 抱水クロラール	<0.002	<0.002	<0.002	4
	15 農薬				
	16 残留塩素	0.4	0.6	0.3	12
	17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	52.1	55.6	48.9	4
	18 マンガン	<0.001	<0.001	<0.001	4
	19 遊離炭酸	9.4	19.2	4.0	4
	20 1,1,1-トリクロロエタン	<0.03	<0.03	<0.03	4
	21 メチルセブチルエーテル(MTBE)	<0.002	<0.002	<0.002	4
	22 有機物等(KMnO4)				
	23 臭気強度(TON)	<1	<1	<1	12
	24 蒸発残留物				
	25 濁度	<0.1	<0.1	<0.1	12
	26 pH	7.1	7.3	6.9	12
27 腐食性(ランゲリア指数)	-1.5	-1.4	-1.6	4	
28 従属栄養細菌	55	95	5	4	
29 1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	4	
30 アルミニウム及びその化合物	0.008	0.010	0.007	4	
31 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)					
その他の項目	気温	16.9	28.9	5.6	12
	水温	18.5	29.0	8.7	12
	アンモニア態窒素				
	紫外線吸光度				
	浮遊物質				
	総酸度	10.6	21.8	4.5	4
	総アルカリ度	44.9	54.6	39.5	4
	カルシウムイオン	17.4	18.6	16.4	4
	電気伝導率	14.6	16.4	12.6	12
	大腸菌[M P N]				
	硫酸イオン	8.5	11.6	6.8	12
	総リン				
嫌気性芽胞菌					
クリプトスポリジウム					
ジアリジ					

(2) 農薬検査結果 出原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	出原第一原水	出原第二原水	出原送水	番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	出原第一原水	出原第二原水	出原送水
				6/20	6/20	6/20					6/20	6/20	6/20
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08					61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	62	テフリトリオン	0.002				
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<
10	アミラズ	0.006	0.0001	<	<	<	69	パラコート	0.005				
11	アラクロー	0.03	0.0003	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01				
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	0.00011	0.00003	0.00005	75	ピリプチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006					77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	78	フェニトロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	79	フェノプロカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05				
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02					82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<
24	オキシジン(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	85	ブタクロー	0.03	0.0003	<	<	<
27	カフェンストロール	0.008	0.00008	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<
28	カルタップ	0.08					87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02					88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	89	プレチラクロー	0.05	0.0005	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<
32	キャプタン	0.3	0.003	<	<	<	91	プロチオホス	0.007				
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<
34	グリホサート	2					93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<
35	グルホシネート	0.02					94	プロベナゾール	0.03				
36	クロメプロップ	0.02	0.002	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	96	ベノミル	0.02				
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	97	ベンジクロン	0.1	0.001	<	<	<
39	クロラタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	102	ペンフラカルブ	0.02				
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<
45	ジクワット	0.01					104	ペンプレセート	0.07	0.0007	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005					106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	107	メコプロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<
51	ジメタメリン	0.02	0.0002	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<
56	ダソメット,メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01					115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<							
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<							
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<							

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

中津原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原水				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原水			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロー	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	0.00004	0.00002	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィブロニル	0.0005	0.000005	<	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンブロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホ	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシシ(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロー	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロー	0.05	0.0005	<	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャプタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロビザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメプロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<	<
37	クローニトロフェン(CNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クローピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロータロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンダゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ペンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ペンプレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロン	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダリメット・メタム及びメチルイソシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

中津原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原送水(4括)				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原送水(4括)			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロピル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロー	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イプフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	0.00007	<	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィブロニル	0.0005	0.000005	<	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンブロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシシン(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロー	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロー	0.05	0.0005	<	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャプタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメプロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<	<
37	クローニトロフェン(CNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クローピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロータロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンダゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ベンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ベンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ベンプレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオピル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロッブ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダリメット・メナム及びメチルイソシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

中津原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原送水(5抽)				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	中津原送水(5抽)			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリルトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	0.00006	0.00002	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシシン銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロール	0.05	0.0005	<	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャブタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメブロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ベンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ベンフレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダシメット、メタム及びメチルイソシアナート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

千田浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	千田原水				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	千田原水			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラポン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリルトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	0.00004	0.00002	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシシン銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロール	0.05	0.0005	<	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャブタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメブロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ベンタゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ペンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ペンフレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダシメット、タム及びメチルイソシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

千田浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	千田送水				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	千田送水			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリルトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	0.00007	<	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシシン銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロール	0.05	0.0005	<	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャブタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメブロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ベンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ベンフレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダシメット、メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

芋原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	芋原原水				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	芋原原水			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリルトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	0.00071	0.00004	<	<	75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィプロニル	0.0005	0.000005	0.000022	0.000005	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシ銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロール	0.05	0.0005	0.0008	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	0.00012	0.00008	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャブタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメブロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	0.002	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ペンフラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ペンフレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダシメット、メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

芋原浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	芋原送水				番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	芋原送水			
				5/9	6/20	7/19	8/1					5/9	6/20	7/19	8/1
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<	<	<	60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08						61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<	<	<	62	テフリルトリオン	0.002					
4	EPN	0.004	0.00004	<	<	<	<	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<	<	<	64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<	<	<	65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<	<	<	66	トリシクラーゾール	0.1	0.001	<	<	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<	<	<	67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<	<	<	69	バラコート	0.005					
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<	70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<	<	<	71	ピラクロニル	0.01					
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<	<	<	72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<	<	<	73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<	<	<	74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<	<	<
16	イブフェンカルバゾン	0.002	0.00002	0.00004	0.00005	<	<	75	ピリプチカルブ	0.02	0.0002	<	<	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<	<	<	76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<	<	<
18	イミノクタジン	0.006						77	フィプロニル	0.0005	0.000005	0.000011	<	<	<
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<	<	<	78	フェニトロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<	<	<	79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<	<	<
21	エトフェンプロックス	0.08	0.0008	<	<	<	<	80	フェリムゾン	0.05					
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<	<	<	81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02						82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<	<	<
24	オキシジン銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<	<	<	83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<	<	<	84	フサライド	0.1	0.001	<	<	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<	<	<	85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<	<	<
27	カフェンストール	0.008	0.00008	<	<	<	<	86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<	<	<
28	カルタップ	0.08						87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<	<	<
29	カルバリル(NAC)	0.02						88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<	<	<
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<	<	<	89	プレチラクロール	0.05	0.0005	0.0012	<	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<	<	<	90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<	<	<
32	キャブタン	0.3	0.003	<	<	<	<	91	プロチオホス	0.007					
33	クミロン	0.03	0.0003	<	<	<	<	92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<	<	<
34	グリホサート	2						93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<	<	<
35	グルホシネート	0.02						94	プロベナゾール	0.03					
36	クロメブロップ	0.02	0.002	<	<	<	<	95	プロモブチド	0.1	0.001	0.002	<	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<	<	<	96	ベノミル	0.02					
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<	<	<	97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<	<	<	98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<	<	<	99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<	<	<
41	シアノホス(GYAP)	0.003	0.00003	<	<	<	<	100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<	<	<	101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<	<	<	102	ペンフレラカルブ	0.02					
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<	<	<	103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<	<	<
45	ジクワット	0.01						104	ペンフレセート	0.07	0.0007	<	<	<	<
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<	<	<	105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005						106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<	<	<
48	ジチオビル	0.009	0.00009	<	<	<	<	107	メコブロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<	<	<	108	メソミル	0.03	0.0003	<	<	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<	<	<	109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<	<	<	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<	<	<	111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<	<	<	112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<	<	<	113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<	<	<	114	メブロニル	0.1	0.001	<	<	<	<
56	ダソメット,メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01						115	モリネート	0.005	0.00005	<	<	<	<
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<	<	<								
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<	<	<								
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<	<	<								

※ 表記について、「<」は定量下限値未満,「-」は欠測定,空白は測定していない項目を示しています。

福田浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	福田原水	福田送水
				6/20	6/20
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08			
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<
4	EPN	0.004	0.00004	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<
9	アニロホス	0.003	0.00003	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<
16	イプフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<
18	イミノクタジン	0.006			
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<
21	エトフェンブロックス	0.08	0.0008	<	<
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02			
24	オキシシン銅(有機銅)	0.03	0.0003	<	<
25	オリサストロピン	0.1	0.001	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<
27	カフェンストロール	0.008	0.00008	<	<
28	カルタップ	0.08			
29	カルバリル(NAC)	0.02			
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<
32	キャプタン	0.3	0.003	<	<
33	クミロン	0.03	0.0003	<	<
34	グリホサート	2			
35	グルホシネート	0.02			
36	クロメプロップ	0.02	0.002	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<
39	クロロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<
45	ジクワット	0.01			
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005			
48	ジチオピル	0.009	0.00009	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<
51	ジメタメトリン	0.02	0.0002	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<
53	シメトリン	0.03	0.0003	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<
56	ダリメト、メタム及びメチルイソシアネート	0.01			
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	福田原水	福田送水
				6/20	6/20
60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<
61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<
62	テフリルトリオン	0.002			
63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<
64	トリクロピル	0.006	0.00006	<	<
65	トリクロルホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<
66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<
67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<
68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<
69	パラコート	0.005			
70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<
71	ピラクロニル	0.01			
72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<
73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<
74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<
75	ピリプチカルブ	0.02	0.0002	<	<
76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<
77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<
78	フェントロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<
79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<
80	フェリムゾン	0.05			
81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<
82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<
83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<
84	フサライド	0.1	0.001	<	<
85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<
86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<
87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<
88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<
89	プレチラクロール	0.05	0.0005	<	<
90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<
91	プロチオホス	0.007			
92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<
93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<
94	プロベナゾール	0.03			
95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<
96	ベノミル	0.02			
97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<
98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<
99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<
100	ペンタゾン	0.2	0.002	<	<
101	ペンディメタリン	0.3	0.003	<	<
102	ペンフラカルブ	0.02			
103	ペンフルラリン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<
104	ペンフレセート	0.07	0.0007	<	<
105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<
106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<
107	メコプロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<
108	メソミル	0.03	0.0003	<	<
109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<
110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<
111	メトミノストロピン	0.04	0.0004	<	<
112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<
113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<
114	メプロニル	0.1	0.001	<	<
115	モリネート	0.005	0.00005	<	<

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

山野浄水場

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	山野原水	
				6/20	6/20
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	0.0005	<	<
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08			
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02	0.0002	<	<
4	EPN	0.004	0.00004	<	<
5	MCPA	0.005	0.00005	<	<
6	アシュラム	0.9	0.009	<	<
7	アセフェート	0.006	0.00006	<	<
8	アトラジン	0.01	0.0001	<	<
9	アニコホス	0.003	0.00003	<	<
10	アミトラズ	0.006	0.0001	<	<
11	アラクロール	0.03	0.0003	<	<
12	イソキサチオン	0.005	0.00005	<	<
13	イソフェンホス	0.001	0.00002	<	<
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	0.0001	<	<
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	0.003	<	<
16	イプフェンカルバゾン	0.002	0.00002	<	<
17	イプロベンホス	0.09	0.0009	<	<
18	イミノクタジン	0.006			
19	インダノファン	0.009	0.00009	<	<
20	エスプロカルブ	0.03	0.0003	<	<
21	エトフェンブックス	0.08	0.0008	<	<
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	0.01	0.0001	<	<
23	オキサジクロメホン	0.02			
24	オキシニル(有機銅)	0.03	0.0003	<	<
25	オリサストロビン	0.1	0.001	<	<
26	カズサホス	0.0006	0.00002	<	<
27	カフェンストロール	0.008	0.00008	<	<
28	カルタップ	0.08			
29	カルババリル(NAC)	0.02			
30	カルボフラン	0.0003	0.000003	<	<
31	キノクラミン(ACN)	0.005	0.00005	<	<
32	キャプタン	0.3	0.003	<	<
33	クミルロン	0.03	0.0003	<	<
34	グリホサート	2			
35	グルホシネート	0.02			
36	クロメプロップ	0.02	0.002	<	<
37	クロルニトロフェン(GNP)	0.0001	0.00002	<	<
38	クロルピリホス	0.003	0.00003	<	<
39	クロタロニル(TPN)	0.05	0.0005	<	<
40	シアナジン	0.001	0.00004	<	<
41	シアノホス(CYAP)	0.003	0.00003	<	<
42	ジウロン(DCMU)	0.02	0.0002	<	<
43	ジクロベニル(DBN)	0.03	0.0003	<	<
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	0.00008	<	<
45	ジクワット	0.01			
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004	0.00004	<	<
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005			
48	ジチオピル	0.009	0.00009	<	<
49	シハロホップブチル	0.006	0.00006	<	<
50	シマジン(CAT)	0.003	0.00003	<	<
51	ジメタメリン	0.02	0.0002	<	<
52	ジメトエート	0.05	0.0005	<	<
53	シメリン	0.03	0.0003	<	<
54	ダイアジノン	0.003	0.00003	<	<
55	ダイムロン	0.8	0.008	<	<
56	ダシメト、メタム及びメチルイソシアナート	0.01			
57	チアジニル	0.1	0.001	<	<
58	チウラム	0.02	0.0002	<	<
59	チオジカルブ	0.08	0.0008	<	<

番号	項目	目標値 (mg/L)	定量 下限値 (mg/L)	山野原水	
				6/20	6/20
60	チオファネートメチル	0.3	0.003	<	<
61	チオベンカルブ	0.02	0.0002	<	<
62	テフリトリオン	0.002			
63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	0.0002	<	<
64	トリクロビル	0.006	0.00006	<	<
65	トリクロロホン(DEP)	0.005	0.0001	<	<
66	トリシクラゾール	0.1	0.001	<	<
67	トリフルラリン	0.06	0.0006	<	<
68	ナプロバミド	0.03	0.0003	<	<
69	パラコート	0.005			
70	ピペロホス	0.0009	0.00002	<	<
71	ピラクロニル	0.01			
72	ピラゾキシフェン	0.004	0.0001	<	<
73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02	0.0002	<	<
74	ピリダフェンチオン	0.002	0.00002	<	<
75	ピリブチカルブ	0.02	0.0002	<	<
76	ピロキロン	0.05	0.0005	<	<
77	フィプロニル	0.0005	0.000005	<	<
78	フェニトロチオン(MEP)	0.01	0.0001	<	<
79	フェノカルブ(BPMC)	0.03	0.0003	<	<
80	フェリムゾン	0.05			
81	フェンチオン(MPP)	0.006	0.00006	<	<
82	フェントエート(PAP)	0.007	0.00007	<	<
83	フェントラザミド	0.01	0.001	<	<
84	フサライド	0.1	0.001	<	<
85	ブタクロール	0.03	0.0003	<	<
86	ブタミホス	0.02	0.0002	<	<
87	ブプロフェジン	0.02	0.0002	<	<
88	フルアジナム	0.03	0.0003	<	<
89	プレチラクロール	0.05	0.0005	<	<
90	プロシミドン	0.09	0.0009	<	<
91	プロチオホス	0.007			
92	プロピコナゾール	0.05	0.0005	<	<
93	プロピザミド	0.05	0.0005	<	<
94	プロベナゾール	0.03			
95	プロモブチド	0.1	0.001	<	<
96	ベノミル	0.02			
97	ベンシクロン	0.1	0.001	<	<
98	ベンゾピシクロン	0.09	0.001	<	<
99	ベンゾフェナップ	0.005	0.001	<	<
100	ベンタゾン	0.2	0.002	<	<
101	ベンディメタリン	0.3	0.003	<	<
102	ベンフルカルブ	0.02			
103	ベンフルラン(ベスロジン)	0.01	0.0001	<	<
104	ベンフレセート	0.07	0.0007	<	<
105	ホスチアゼート	0.005	0.0001	<	<
106	マラチオン(マラソン)	0.7	0.007	<	<
107	メコプロップ(MCPP)	0.05	0.0005	<	<
108	メソミル	0.03	0.0003	<	<
109	メタラキシル	0.2	0.002	<	<
110	メチダチオン(DMTP)	0.004	0.00004	<	<
111	メトミノストロビン	0.04	0.0004	<	<
112	メトリブジン	0.03	0.0003	<	<
113	メフェナセット	0.02	0.0002	<	<
114	メブロニル	0.1	0.001	<	<
115	モリネート	0.005	0.00005	<	<

※ 表記について、「<」は定量下限値未満、「-」は欠測定、空白は測定していない項目を示しています。

(3) 生物検査結果

浄水場原水 及び 送水の生物総数

	出原浄水場											
	第一原水				第二原水				送水			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
藍藻類	0.1	0.2	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
珪藻類	0.8	2.5	0.0	12	1.1	6.2	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12
緑藻類	1.0	5.6	0.0	12	0.6	2.4	0.0	12	0.0	0.4	0.0	12
その他藻類	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
動物プランクトン	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
生物総数	1.8	5.6	0.0	12	1.8	7.6	0.0	12	0.1	0.5	0.0	12

	中津原浄水場											
	原水				送水(4拵)				送水(5拵)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
藍藻類	13	60	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
珪藻類	3,600	32,000	430	12	0.1	0.6	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
緑藻類	200	1,000	0	12	0.0	0.1	0.0	12	0.0	0.1	0.0	12
その他藻類	10	74	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
動物プランクトン	4	40	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
生物総数	3,800	32,000	500	12	0.1	0.6	0.0	12	0.0	0.1	0.0	12

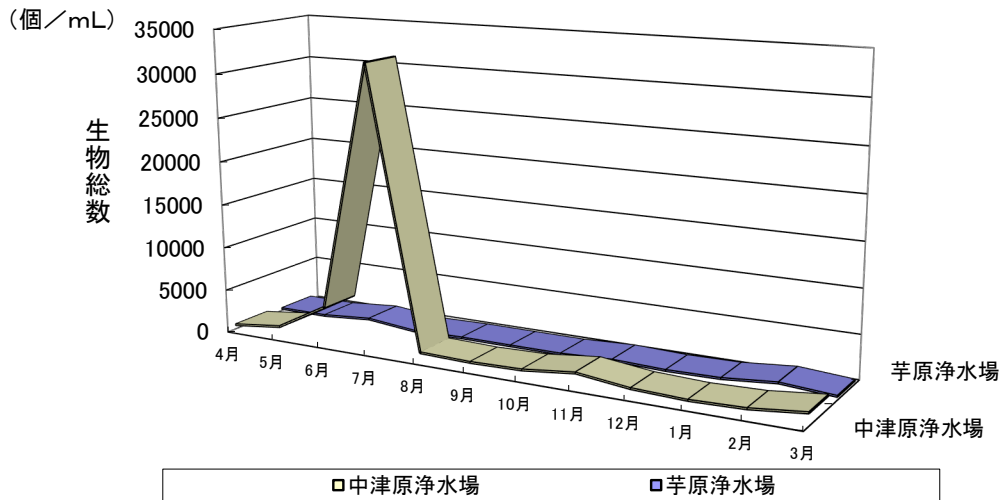
	千田浄水場				福田浄水場							
	送水				原水				送水			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
藍藻類	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
珪藻類	0.0	0.2	0.0	12	0.0	0.3	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12
緑藻類	0.0	0.1	0.0	12	0.5	4.1	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
その他藻類	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
動物プランクトン	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
生物総数	0.1	0.2	0.0	12	0.5	4.1	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12

※千田浄水場の原水は、中津原浄水場と共通です。

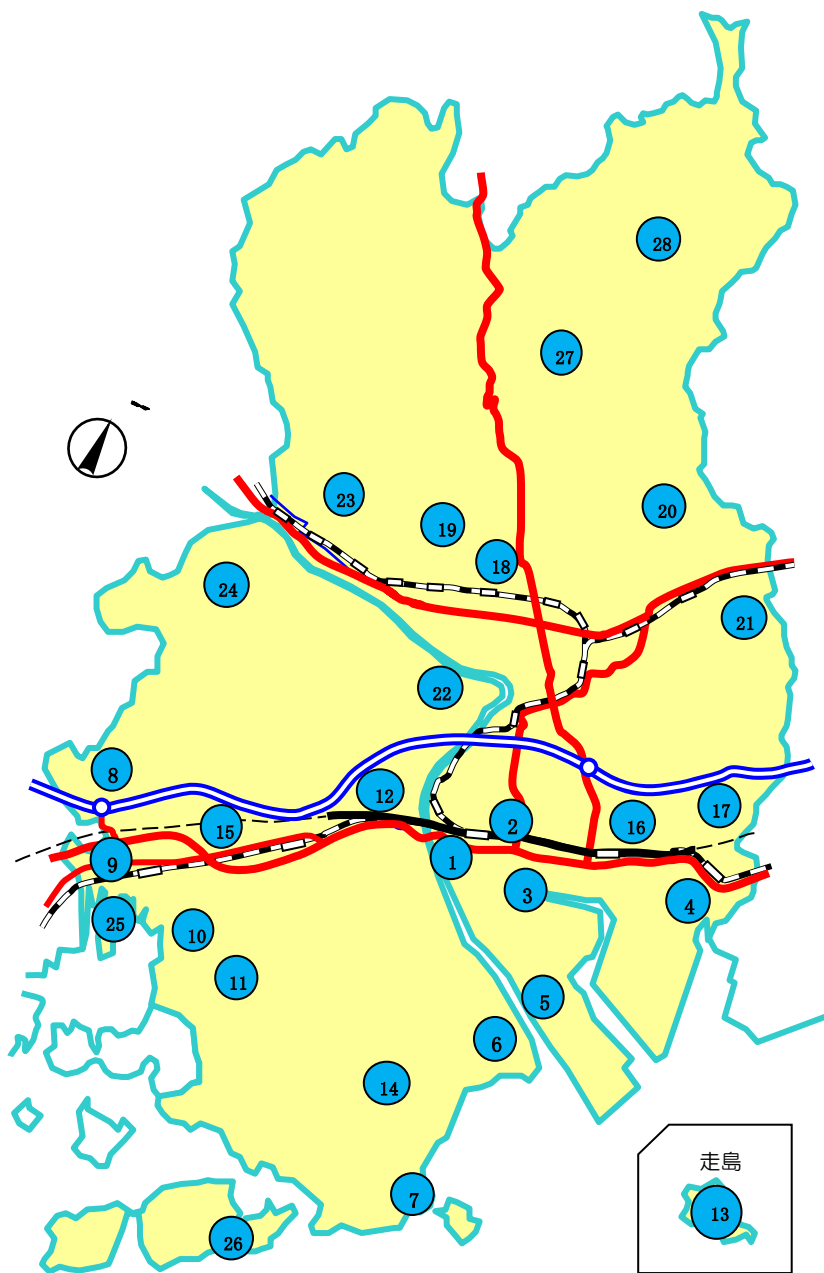
	芋原浄水場				山野浄水場											
	原水				送水				原水				送水			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
藍藻類	50	550	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.2	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
珪藻類	130	350	6	12	0.3	0.9	0.0	12	0.2	0.7	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
緑藻類	140	530	22	12	0.4	2.0	0.0	12	0.7	3.0	0.0	12	0.1	0.4	0.0	12
その他藻類	10	92	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
動物プランクトン	2	10	0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12	0.0	0.0	0.0	12
生物総数	330	840	82	12	0.7	2.1	0.0	12	1.0	3.7	0.0	12	0.1	0.4	0.0	12

(個/mL)

表流水を水源とする浄水場原水の月別生物総数



3 市内毎日検査結果



残留塩素 測定結果

地点	最低	平均	最高
1	0.2	0.3	0.6
2	0.3	0.5	0.6
3	0.2	0.4	0.7
4	0.2	0.5	0.7
5	0.2	0.5	0.8
6	0.3	0.5	0.7
7	0.3	0.6	0.8
8	0.5	0.6	0.8
9	0.2	0.5	0.9
10	0.4	0.6	0.8
11	0.2	0.3	0.5
12	0.3	0.6	0.7
13	0.2	0.3	0.6
14	0.2	0.5	0.8
15	0.3	0.5	0.6
16	0.2	0.3	0.6
17	0.2	0.4	0.8
18	0.3	0.5	0.8
19	0.2	0.4	0.7
20	0.2	0.4	0.6
21	0.3	0.3	0.5
22	0.2	0.4	0.7
23	0.2	0.5	0.9
24	0.4	0.6	0.8
25	0.4	0.6	0.9
26	0.1	0.4	1.2
27	0.3	0.4	0.7
28	0.2	0.4	0.5

上水道系統

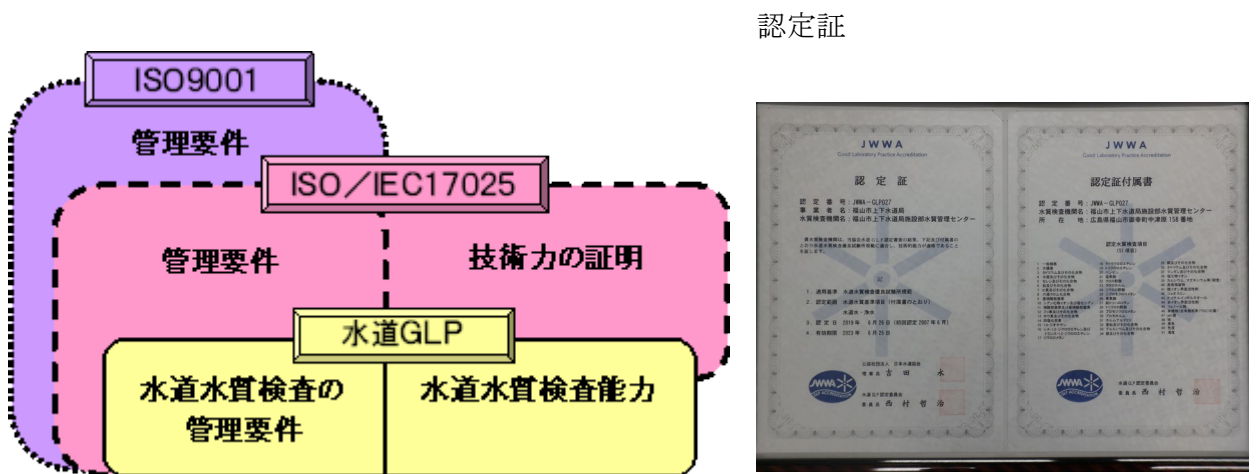
出原浄水場系	1～3	中津原浄水場系	4～15
千田浄水場系	16～21	福田浄水場系	22～24
県用水受水	25～26	芋原浄水場系	27
山野浄水場系	28		

※ 色・濁り，臭味は全地点で異常なし

4 水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）について

水道GLPとは、水質検査機関による検査結果の信頼性確保を目的として、日本水道協会によって制定した規準です。国際規格であるISO9001とISO/IEC17025の一部を基に、水質検査が適正に実施されたことを証明する規準を定めたものであり、管理上の要件と技術的要件から構成されています。

水質管理センターでは、2007年(平成19年)6月に水道GLPの認定を取得しました。認定後は2年ごとに中間審査(サーベイランス)または更新審査を受けており、精度と信頼性の高い水質検査を実施していると認められています。なお、次回の更新は2023年度(令和5年度)に予定しています。



水道GLP認定の内容[2022年度(令和4年度)末現在]

認定機関	公益社団法人日本水道協会(JWWA)
認定日	2019年(令和元年)6月26日
初回認定日	2007年(平成19年)6月26日
適用基準	水道水質検査優良試験所規範
水質検査機関名	福山市上下水道局施設部水質管理センター
認定範囲	対象:水道水・浄水 項目:水道水質基準項目(51項目)
認定番号	JWWA—GLP027

第二編

工業用水道

1 概要

福山市の工業用水道は、1958年（昭和33年）から給水を開始した蓮池工業用水道（日量2万m³、後3万m³に増強）が始まりで、古くから栄えた繊維をはじめ化学・ゴム・食品などの地場産業を支えてきました。

その後、1961年（昭和36年）の日本鋼管(株) 福山製鉄所（現 JFE スチール(株) 西日本製鉄所）の誘致決定により、著しい人口の増加や工業の発展に伴う都市用水の増加に備え、1965年（昭和40年）に日量24万m³の規模をもつ工業用水道を中津原浄水場（上水道施設併設）に建設しました。

更に躍進する都市機能に対応するため、新たな水源として芦田川の河口に可動堰を設け河道に貯水する有効貯水量496万m³の河口堰が建設され、この貯留水を水源とした箕島浄水場を1978年（昭和53年）に建設し、蓮池工業用水道を統合廃止しました。

事業の経過

- 1957年（昭和32年） 蓮池工業用水道建設に着手
- 1958年（昭和33年） 蓮池工業用水道建設完了，給水開始
- 1961年（昭和36年） 日本鋼管(株) 福山製鉄所の誘致調印
- 1965年（昭和40年） 中津原浄水場給水開始（臨海工業用水道事業）
- 1973年（昭和48年） 芦田川河口堰工業用水道事業に着手
- 1978年（昭和53年） 箕島浄水場給水開始（蓮池工業用水道事業の統合廃止）
- 2006年（平成18年） 臨海工業用水道事業と河口堰工業用水道事業を統合

工業用水道施設

中津原浄水場	
水 源	芦田川表流水
取 水 能 力	180,000 m ³ /日
配 水 能 力	180,000 m ³ /日
処 理 方 法	原水濁度が10度を超えた場合，凝集剤添加による凝集沈殿

箕島浄水場	
水 源	芦田川河口堰貯留水
取 水 能 力	170,000 m ³ /日
配 水 能 力	113,000 m ³ /日
処 理 方 法	生物が繁殖した場合，前塩素及び硫酸銅注入 原水濁度が10度を超えた場合，凝集剤添加による凝集沈殿

水質基準（福山市工業用水道条例 第23条）

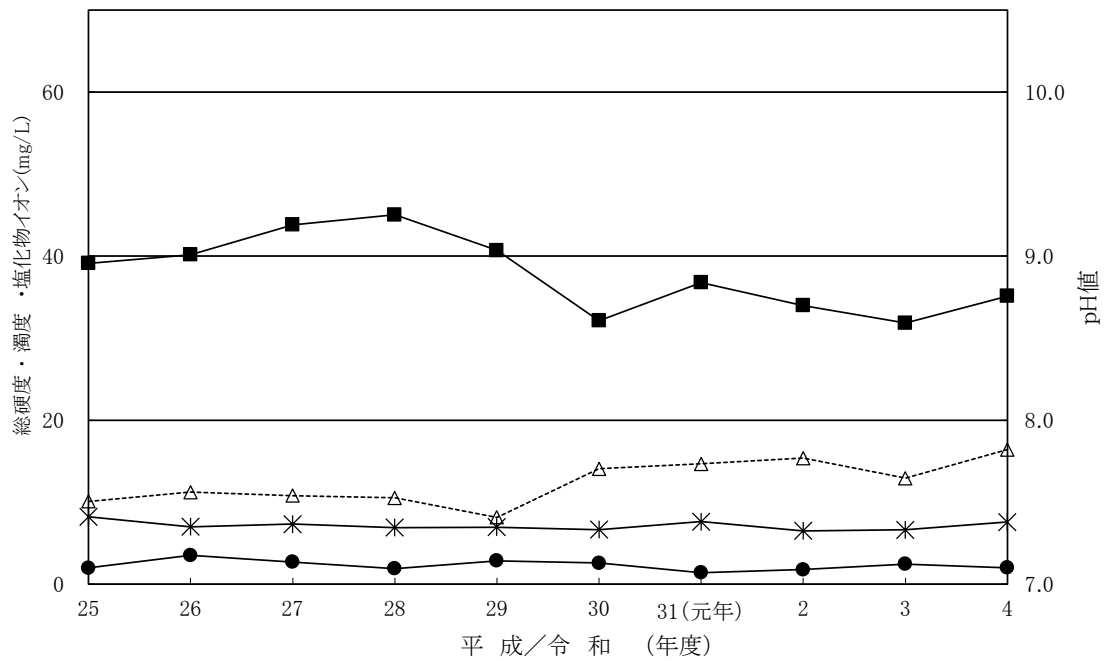
水 温	常温
濁 度	10度以下
p H 値	5.8以上，8.6以下
塩素イオン	200mg/L以下

工業用水道 配管図

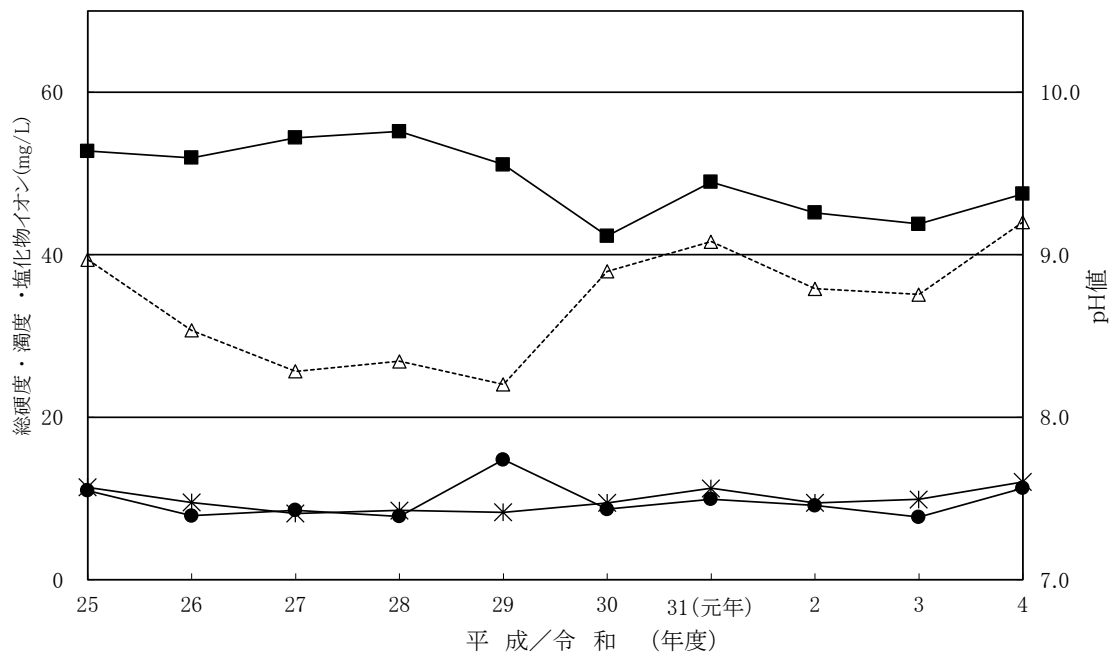


2 経年変化

中津原浄水場 原水



箕島浄水場 原水



3 水質検査結果

中津原浄水場系	原水				浄水				配水			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水 温	17.4	30.6	5.9	12	17.9	31.1	6.0	12	18.4	31.6	6.7	12
鉄	0.12	0.30	<0.01	12	0.10	0.22	<0.01	12	0.15	0.24	0.07	12
マンガン	0.039	0.072	0.015	12	0.033	0.057	0.012	12	0.047	0.073	0.015	12
塩素イオン	7.6	9.8	6.0	12	7.6	9.8	6.5	12	7.7	9.8	6.5	12
有機物 (TOC)	1.7	2.3	1.4	12	1.7	2.5	1.0	12	1.7	2.5	1.0	12
pH 値	7.8	8.1	7.4	12	7.7	7.9	7.3	12	7.6	7.8	7.2	12
濁 度	2.0	5.1	1.0	12	1.7	3.6	0.9	12	2.1	2.9	1.2	12
総 酸 度	1.2	2.6	0.5	12	1.3	1.9	0.8	12	0.9	1.8	1.0	12
総アルカリ度	35.7	38.7	27.0	12	33.6	36.5	27.5	12	32.9	36.2	27.4	12
電気伝導率	13.1	14.3	10.4	12	13.3	14.5	11.4	12	13.4	14.6	12.0	12
蒸発残留物	90	97	80	12	91	99	79	12	95	106	80	12
総 硬 度	35.1	39.2	26.4	12	35.1	38.4	28.3	12	35.0	38.8	30.1	12
硫酸イオン	10.9	13.7	8.9	12	14.1	23.2	10.1	12	14.9	23.0	10.9	12

箕島浄水場系	原水				浄水				給水			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水 温	18.2	31.6	4.7	12	18.2	31.6	4.7	12	18.7	31.3	7.3	12
鉄	0.33	0.76	0.12	12	0.03	0.09	<0.01	12	0.12	0.59	<0.01	12
マンガン	0.071	0.143	0.038	12	0.036	0.091	0.013	12	0.035	0.076	0.013	12
塩素イオン	12.0	18.4	7.8	12	12.8	19.3	8.6	12	12.9	19.3	8.4	12
有機物 (TOC)	3.2	5.2	2.5	12	2.4	4.2	1.7	12	1.8	3.9	1.1	12
pH 値	9.2	9.8	8.4	12	7.1	7.3	7.0	12	7.0	7.1	6.9	12
濁 度	11	16	7.2	12	1.5	3.9	0.6	12	1.2	3.2	0.2	12
総 酸 度	<0.1	<0.1	<0.1	12	5.3	7.4	3.8	12	6.7	7.9	4.7	12
総アルカリ度	46.9	53.2	37.4	12	27.3	34.6	20.5	12	27.5	34.5	22.7	12
電気伝導率	17.3	20.4	13.3	12	18.7	21.9	14.4	12	18.8	22.0	14.4	12
蒸発残留物	128	163	104	12	124	159	104	12	124	160	99	12
総 硬 度	47.5	56.8	37.1	12	49.1	62.0	37.8	12	49.2	60.9	38.1	12
銅	<0.01	<0.01	<0.01	12	0.04	0.07	<0.01	12	0.03	0.05	0.02	12
硫酸イオン	15.6	19.8	12.1	12	40.3	53.6	29.1	12	40.5	54.3	30.1	12

第三編

水源の水質

1章 芦田川流域

1-1 概要

芦田川は広島県の東部に位置し、中国山地の前稜広島県三原市大和町字蔵宗（標高 570m）に源を発し、大小の河川をあわせながら、世羅盆地から府中市及び神辺平野を中国山地沿いに東方に流れ、福山市に入って大きく南へ流れを変え備後平野を南下し瀬戸内海に注いでいます。その流域は広島・岡山両県にまたがり、流域面積 860km²（山地 773km²、平地 64km²、河川区域 23km²）、幹川流路延長 86.0km の山陽地方第 5 位の一級河川です。

主な支川は、矢多田川(59.3km²)、宇津戸川(25.6km²)、阿字川(42.4km²)、御調川(156.0km²)、神谷川(74.9km²)、有地川(28.8km²)、服部川(27.7km²)、高屋川(139.2km²)、瀬戸川(58.2km²)で、全支川を含めた総流路延長は 477km にもおよびます。

流域の年間降水量は沿岸部で 1,200mm、山間部で 1,600mm 前後と寡雨地帯の瀬戸内の中でも特に少ない地域であるにもかかわらず、かんがい用水、水道用水、発電用水、工業用水として広く利用されており、河川水のみより一層の有効利用が必要となり三川ダム（有効貯水容量 1,230 万 m³）、八田原ダム（有効貯水量 5,700 万 m³）、芦田川河口堰（有効貯水量 496 万 m³）が建設されています。

この芦田川流域の市町は、芦田川と共に発展し中流域では繊維工業・家具等の産業が起こり、下流域では従来の紡績・ゴム・畳表から 1964 年（昭和 39 年）の備後工業整備特別地域の指定後、鉄鋼基幹産業を軸とした重工業都市へと大きく変貌し、大規模な臨海工業地帯が形成されています。このように芦田川は備後地域における社会、経済の基盤を成すとともに、水道水源として重要な役割を果たしています。

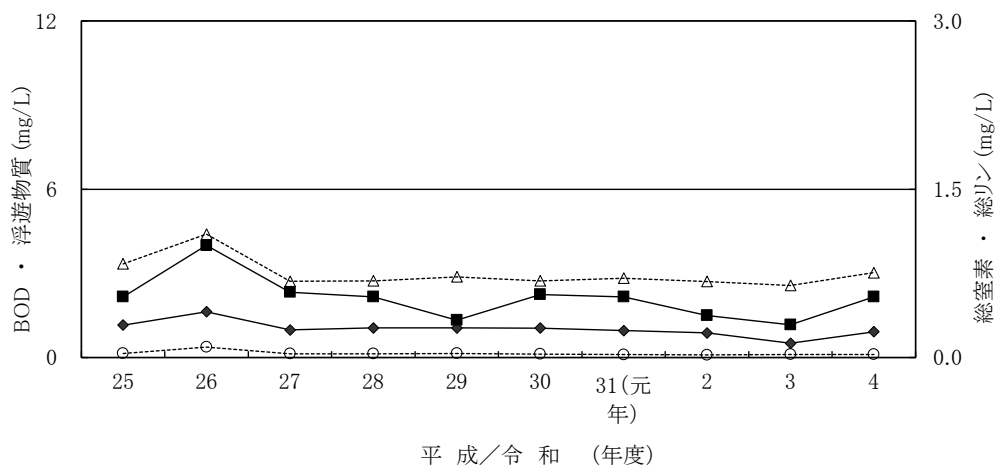
芦田川流域の調査地点



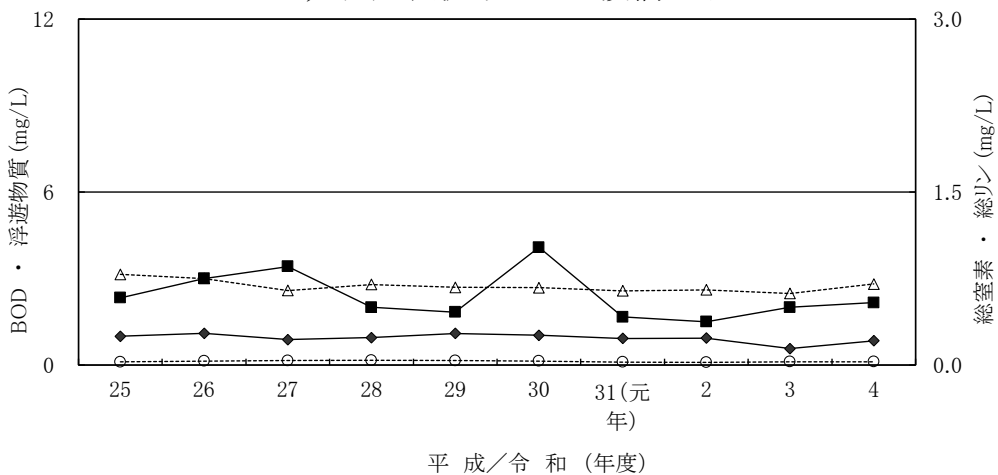
- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ① 芦田川 久 佐 (河口より 41.1km) | ⑥ 芦田川 中 津 原 (河口より 13.3km) |
| ② 芦田川 大 渡 橋 (河口より 31.6km) | ⑦ 高屋川 川 北 (合流点より 7.3km) |
| ③ 芦田川 府 中 大 橋 (河口より 27.4km) | ⑧ 高屋川 横 尾 (合流点より 3.2km) |
| ④ 砂 川 中 須 (合流点より 0.5km) | ⑨ 高屋川 出 原 橋 (合流点より 1.1km) |
| ⑤ 芦田川 上 戸 手 (河口より 21.8km) | ⑩ 芦田川 神 島 橋 (河口より 8.2km) |

1-2 経年変化

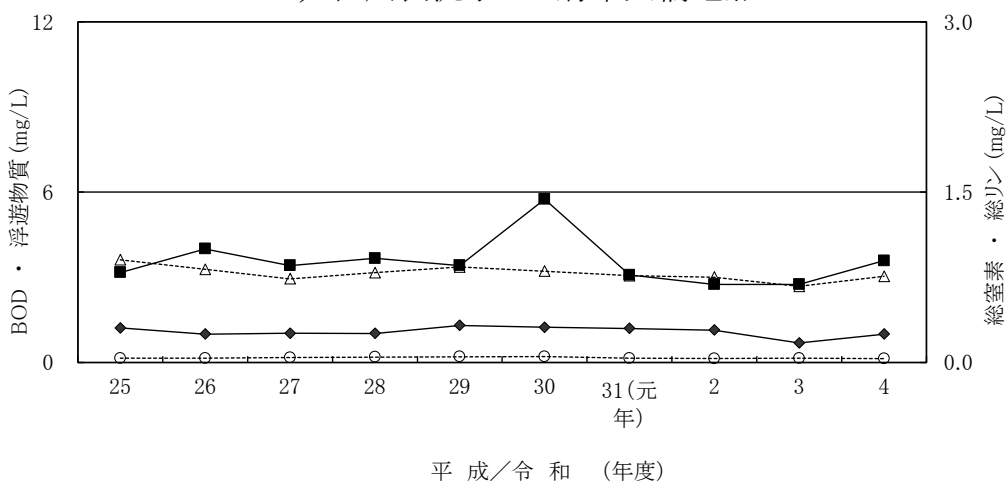
芦田川表流水・久佐地点



芦田川表流水・大渡橋地点

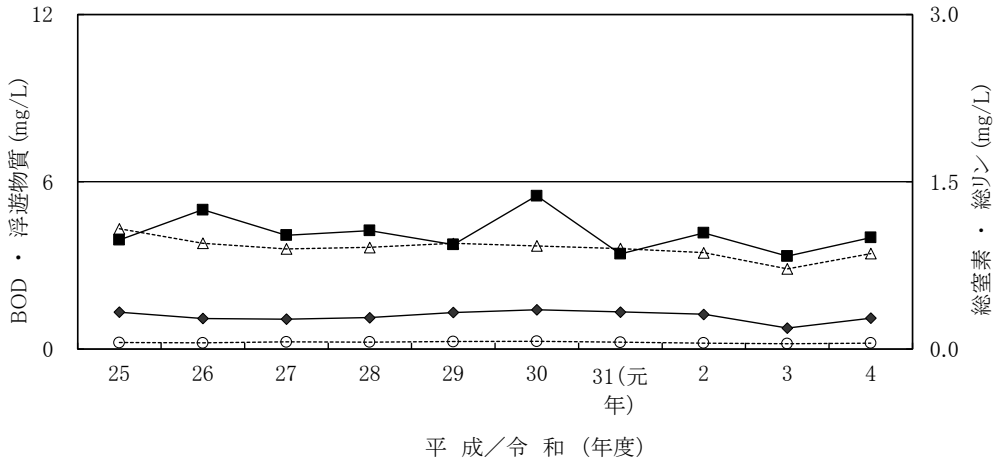


芦田川表流水・府中大橋地点

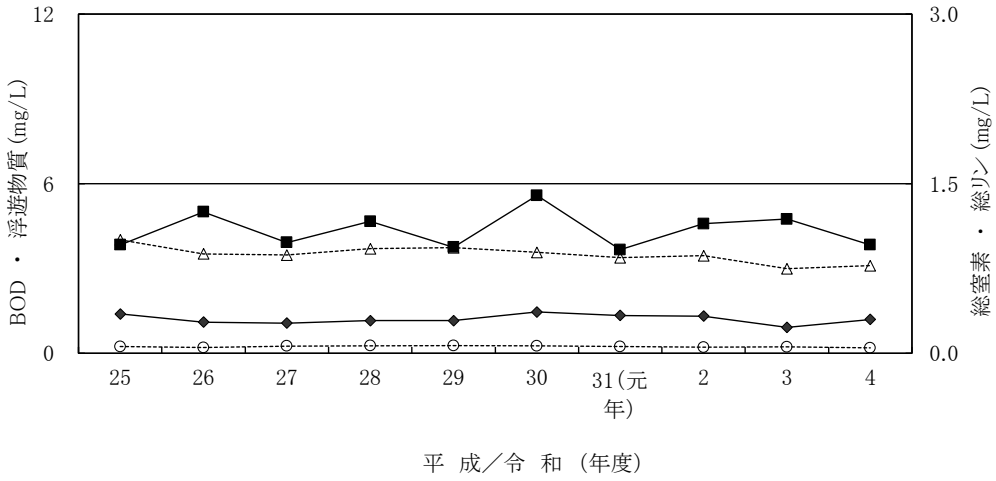


◆ BOD (生物化学的酸素要求量) ■ 浮遊物質 △ 総窒素 ○ 総リン

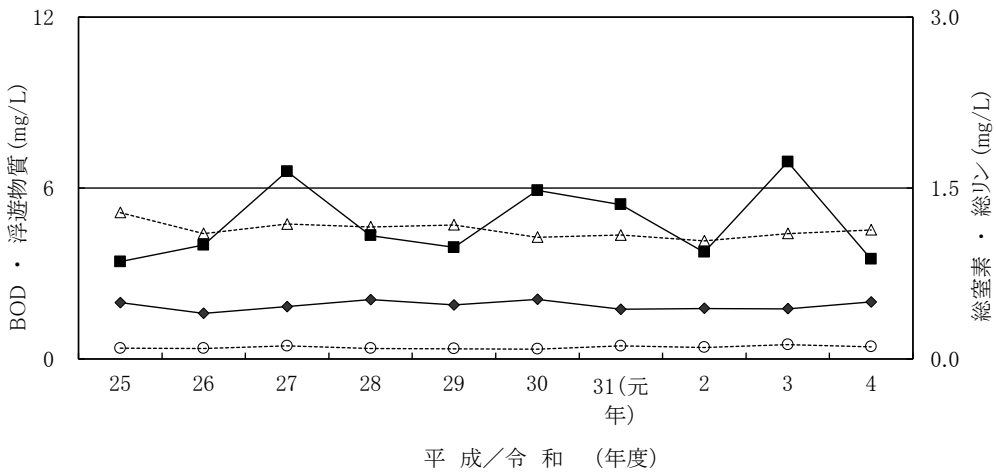
芦田川表流水・上戸手地点



芦田川表流水・中津原地点

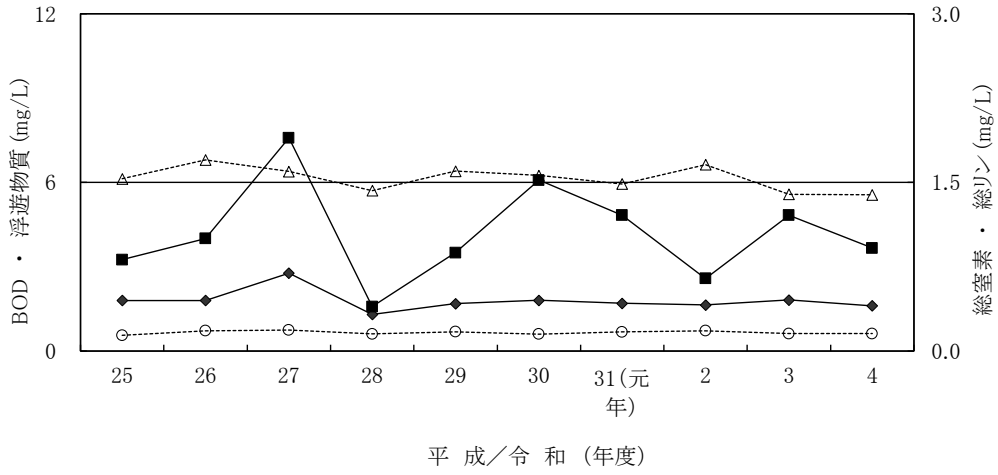


芦田川表流水・神島橋地点

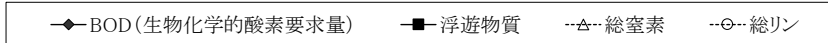
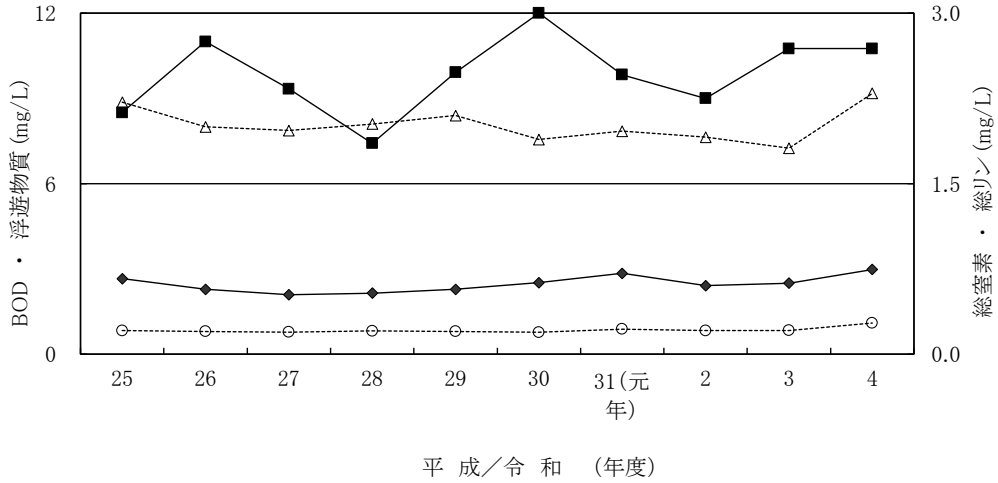


◆ BOD (生物化学的酸素要求量) ■ 浮遊物質 △ 総窒素 ○ 総リン

砂川表流水・中須地点



高屋川表流水・横尾地点



1-3 水質検査結果

項目	芦田川											
	久佐(河口より41.1km)				大渡橋(河口より31.6km)				府中大橋(河口より27.4km)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水温	15.7	27.0	5.8	12	15.0	26.3	4.6	12	15.2	26.6	4.9	12
pH値	7.7	7.9	7.5	12	7.7	7.9	7.6	12	7.7	7.9	7.5	12
溶存酸素	9.4	11	7.8	12	9.5	11	7.6	12	9.5	11	7.7	12
生物化学的酸素要求量	0.9	1.5	0.5	12	0.8	1.3	<0.5	12	1.0	1.5	0.6	12
化学的酸素要求量	3.3	4.5	1.9	12	3.2	4.4	1.9	12	3.4	4.7	2.0	12
浮遊物質	2	7	<1	12	2	9	<1	12	4	9	1	12
大腸菌数(CFU)	23	150	<2	12	150	1,100	12	12	77	360	13	12
亜鉛									0.019	0.041	0.007	4
鉄	<0.1	0.1	<0.1	12	<0.1	0.2	<0.1	12	0.1	0.2	<0.1	12
マンガン	0.059	0.189	0.019	12	0.020	0.039	0.009	12	0.058	0.19	0.015	12
濁度									1.8	4.0	0.8	12
総アルカリ度	28	31	25	12	29	31	26	12	31	33	29	12
一般細菌	1,500	3,800	44	12	5,200	33,000	150	12	3,600	16,000	240	12
有機物(TOC)	1.8	2.4	1.3	12	1.6	2.0	1.3	12	1.8	2.2	1.3	12
電気伝導率									10	12	10	12
塩素イオン									6.6	8.4	5.5	12
硫酸イオン	6.1	6.8	5.3	12	6.2	7.0	5.5	12	7.4	8.1	6.5	12
総窒素	0.76	0.89	0.59	12	0.70	0.9	0.58	12	0.76	0.96	0.54	12
有機態窒素									0.26	0.41	0.09	12
アンモニア態窒素									0.03	0.10	<0.01	12
亜硝酸態窒素									0.008	0.013	<0.005	12
硝酸態窒素									0.45	0.57	0.29	12
溶解性総窒素												
溶解性有機態窒素												
総リン	0.028	0.057	0.013	12	0.028	0.047	0.008	12	0.034	0.064	0.015	12
溶解性総リン												
オルトリン酸態リン									0.023	0.043	0.007	12
溶解性オルトリン酸態リン	0.011	0.023	0.004	12	0.015	0.029	0.007	12	0.018	0.037	0.003	12
カリウム	2.2	2.5	1.7	12	2.1	2.4	1.6	12	2.4	2.8	2.0	12
陰イオン界面活性剤	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	<0.01	<0.01	12
クロロフィル a												
溶性ケイ酸	12	14	7.2	12					12	15	9.7	12
総トリハロメタン生成能									0.038	0.052	0.028	12
クロロホルム生成能									0.030	0.042	0.020	12
ブロモジクロロメタン生成能									0.007	0.009	0.006	12
ジブロモクロロメタン生成能									<0.001	0.001	0.001	12
ブromoホルム生成能									<0.001	<0.001	<0.001	12

項目	芦田川											
	上戸手(河口より21.8km)				中津原(河口より13.3km)				神島橋(河口より8.2km)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水温	15.6	27.1	5.2	12	16.0	28.1	5.3	12	18.7	33.7	5.4	12
pH値	7.6	7.7	7.5	12	7.7	7.8	7.5	12	7.9	8.3	7.6	12
溶存酸素	8.2	10	5.8	12	7.8	11	4.7	12	9.0	11	6.9	12
生物化学的酸素要求量	1.1	1.7	0.7	12	1.2	2.5	0.6	12	2.0	4.0	0.8	12
化学的酸素要求量	3.5	6.4	2.3	12	3.4	5.6	2.2	12	4.5	6.3	3.1	12
浮遊物質	4	16	1	12	4	11	1	12	4	8	1	12
大腸菌数(CFU)	190	820	45	12	140	1,200	19	12	110	480	2	12
亜鉛	0.006	0.011	0.004	4	0.007	0.011	0.004	4	0.010	0.015	0.006	4
鉄	0.1	0.4	<0.1	12	0.1	0.3	<0.1	12	0.2	0.2	<0.1	12
マンガン	0.043	0.082	0.018	12	0.049	0.085	0.020	12	0.070	0.17	0.031	12
濁度	2.2	8.8	0.6	12	1.8	5.3	0.6	12	2.7	4.4	1.5	12
総アルカリ度	34	37	30	12	35	39	26	12	48	53	37	12
一般細菌	7,300	31,000	1,100	12	9,800	75,000	930	12	12,000	38,000	2,400	12
有機物(TOC)	1.8	2.5	1.3	12	1.8	2.4	1.4	12	2.5	3.4	1.8	12
電気伝導率	12	14	11	12	13	14	10	12	18	21	14	12
塩素イオン	7.7	9.8	6.3	12	7.7	9.8	5.7	12				
硫酸イオン	11	13	9.2	12	11	14	9	12	17	20	12	12
総窒素	0.86	1.2	0.63	12	0.77	1.0	0.62	12	1.1	1.5	0.68	12
有機態窒素	0.27	0.64	0.19	12	0.28	0.58	0.15	12	0.39	0.72	0.21	12
アンモニア態窒素	0.03	0.09	0.01	12	0.02	0.04	<0.01	12	0.08	0.17	0.02	12
亜硝酸態窒素	0.011	0.017	0.006	12	0.010	0.022	<0.005	12	0.027	0.036	0.013	12
硝酸態窒素	0.52	0.69	0.38	12	0.46	0.66	0.29	12	0.60	0.97	0.20	12
溶解性総窒素									1.1	1.5	0.67	12
溶解性有機態窒素									0.33	0.62	0.11	12
総リン	0.053	0.091	0.028	12	0.048	0.086	0.022	12	0.10	0.13	0.063	12
溶解性総リン									0.085	0.11	0.046	12
オルトリン酸態リン					0.032	0.070	0.012	12	0.084	0.10	0.045	12
溶解性オルトリン酸態リン	0.034	0.055	0.016	12	0.028	0.049	0.010	12				
カリウム	2.5	2.7	2.2	12	2.5	2.7	2.2	12	3.0	3.3	2.5	12
陰イオン界面活性剤	<0.01	0.01	<0.01	12	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	0.01	<0.01	12
クロロフィル a									8.7	21	2.5	12
溶性ケイ酸									10	13	8.1	12
総トリハロメタン生成能	0.038	0.073	0.027	12	0.036	0.049	0.026	12				
クロロホルム生成能	0.030	0.066	0.019	12	0.028	0.043	0.018	12				
ブロモジクロロメタン生成能	0.007	0.011	0.006	12	0.007	0.012	0.005	12				
ジブロモクロロメタン生成能	0.001	0.001	<0.001	12	0.001	0.001	<0.001	12				
ブromoホルム生成能	<0.001	<0.001	<0.001	12	<0.001	<0.001	<0.001	12				

項目	砂川				高屋川			
	中須(合流点より0.5km)				川北(合流点より7.3km)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水	15.3	28.4	4.5	12	16.4	28.3	5.8	12
pH	7.7	7.9	7.5	12	7.8	8.1	7.6	12
溶解性酸素	8.3	11	5.3	12	7.5	9	4.9	12
生物化学的酸素要求量	1.6	4.2	0.7	12	2.2	3.8	1.4	12
化学的酸素要求量	4.2	7.2	2.3	12	5.8	8.2	4.0	12
浮遊物質	4	15	<1	12	6	15	2	12
大腸菌数(CFU)	1,500	5,800	210	12	190	500	50	12
亜鉛					0.008	0.010	0.005	4
鉄	0.1	0.3	<0.1	12	0.2	0.5	0.1	12
マンガン	0.047	0.073	0.011	12	0.088	0.12	0.062	12
濁度								
総アルカリ度	39	43	35	12	66	77	47	12
一般細菌	43,000	130,000	2,900	12	51,000	76,000	19,000	12
有機物(TOC)	2.1	3.3	1.5	12	2.7	4.4	1.9	12
電気伝導率					34	46	23	12
塩素イオン								
硫酸イオン	12	17	9	12	65	103	36	12
総窒素	1.3	1.9	1.0	12	1.6	2.2	1.0	12
有機態窒素					0.48	0.86	0.25	12
アンモニア態窒素					0.16	0.28	0.07	12
亜硝酸態窒素					0.051	0.093	0.031	12
硝酸態窒素					0.9	1.5	0.3	12
溶解性総窒素								
溶解性有機態窒素								
総リン	0.15	0.48	0.077	12	0.15	0.29	0.097	12
溶解性総リン								
オルトリン酸態リン								
溶解性オルトリン酸態リン	0.11	0.24	0.063	12	0.098	0.12	0.078	12
カリウム	2.8	3.3	2.3	12	4.6	6.2	3.8	12
陰イオン界面活性剤	<0.01	0.04	<0.01	12	<0.01	0.02	<0.01	12
クロロフィル a								
溶性ケイ酸								
総トリハロメタン生成能								
クロロホルム生成能								
ブロモジクロロメタン生成能								
ジブロモクロロメタン生成能								
ブロモホルム生成能								

項目	高屋川							
	横尾(合流点より3.2km)				出原橋(合流点より1.1km)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水	16.2	28.4	4.6	12	15.8	27.8	4.4	12
pH	7.8	8.0	7.6	12	7.8	7.9	7.6	12
溶解性酸素	6.7	10	4.2	12	6.7	10	4.1	12
生物化学的酸素要求量	3.0	4.9	1.6	12	2.4	4.2	1.6	12
化学的酸素要求量	6.7	8.0	5.2	12	5.7	7.5	4.9	12
浮遊物質	11	17	7	12	8	16	3	12
大腸菌数(CFU)	340	990	140	12	260	1,000	24	12
亜鉛	0.011	0.016	0.008	4				
鉄	0.5	0.5	0.3	12	0.4	0.5	0.1	12
マンガン	0.14	0.21	0.084	12	0.12	0.21	0.063	12
濁度	5.5	8.2	4.1	12				
総アルカリ度	69	77	54	12	62	77	47	12
一般細菌	33,000	62,000	14,000	12	30,000	110,000	5,600	12
有機物(TOC)	3.1	4.0	2.4	12	2.7	3.5	2.1	12
電気伝導率	28	34	21	12				
塩素イオン								
硫酸イオン	30	40	18	12	25	33	14	12
総窒素	2.2	3.7	1.4	12	1.9	3.4	1.1	12
有機態窒素	0.52	0.75	0.30	12	0.44	0.64	0.09	12
アンモニア態窒素	0.42	1.02	0.16	12	0.28	0.99	0.07	12
亜硝酸態窒素	0.096	0.165	0.045	12	0.068	0.115	0.031	12
硝酸態窒素	1.2	1.9	0.4	12	1.0	1.8	0.6	12
溶解性総窒素								
溶解性有機態窒素								
総リン	0.27	0.51	0.21	12	0.22	0.48	0.17	12
溶解性総リン								
オルトリン酸態リン	0.22	0.28	0.19	12	0.18	0.24	0.14	12
溶解性オルトリン酸態リン	0.19	0.23	0.15	12	0.16	0.21	0.11	12
カリウム	4.0	4.5	3.2	12	3.7	4.5	3.0	12
陰イオン界面活性剤	0.02	0.04	<0.01	12	0.02	0.04	<0.01	12
クロロフィル a	15	36	5.8	12				
溶性ケイ酸								
総トリハロメタン生成能								
クロロホルム生成能								
ブロモジクロロメタン生成能								
ジブロモクロロメタン生成能								
ブロモホルム生成能								

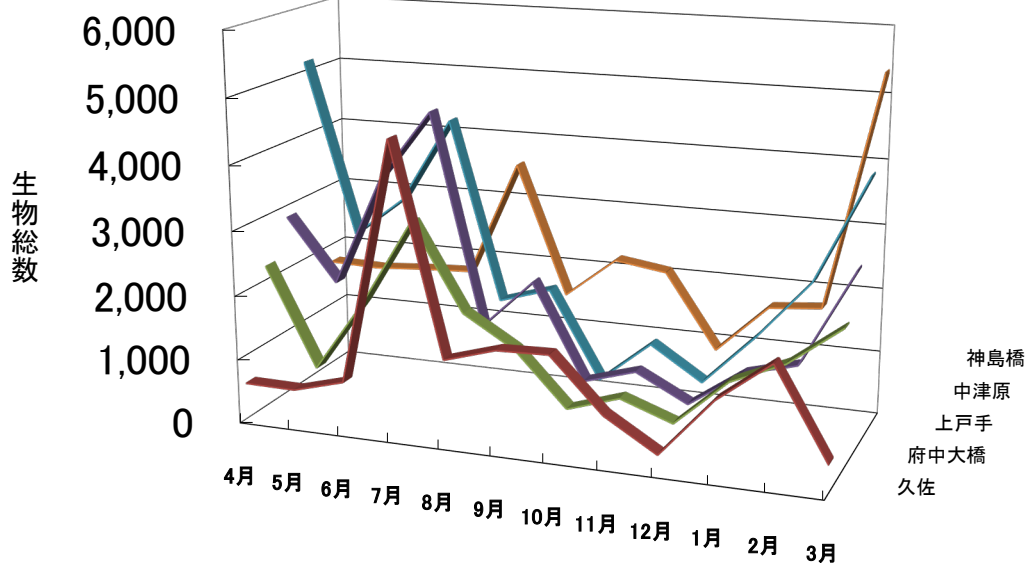
1-4 生物検査結果

	久佐				府中大橋				上戸手				
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	
植物プランクトン	藍藻類	12	68	0	12	10	28	0	12	27	160	0	12
	珪藻類	1,000	4,500	110	12	1,300	3,000	390	12	1,800	4,500	450	12
	緑藻類	240	550	12	12	160	390	24	12	190	680	0	12
	クリプト藻類	5	28	0	12	1	6	0	12	4	18	0	12
	黄金藻類	0	4	0	12	0	2	0	12	0	0	0	12
	渦鞭藻類	0	0	0	12	1	4	0	12	0	2	0	12
動物プランクトン	ユーグレナ藻類	2	20	0	12	1	8	0	12	1	12	0	12
	鞭毛虫類	0	1	0	12	0	0	0	12	0	0	0	12
	根足虫類	0	2	0	12	0	2	0	12	0	0	0	12
	繊毛虫類	0	2	0	12	0	2	0	12	1	4	0	12
	ワムシ類	1	14	0	12	1	8	0	12	1	5	0	12
	線虫類	0	0	0	12	0	0	0	12	0	0	0	12
その他動物	0	0	0	12	0	0	0	12	0	0	0	12	
生物総数	1,300	4,500	250	12	1,500	3,100	470	12	2,000	4,600	510	12	

	中津原				神島橋				
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	
植物プランクトン	藍藻類	95	1,000	0	12	48	160	0	12
	珪藻類	2,100	5,100	370	12	1,500	5,200	260	12
	緑藻類	190	490	13	12	560	2,200	82	12
	クリプト藻類	2	6	0	12	3	12	0	12
	黄金藻類	1	16	0	12	0	1	0	12
	渦鞭藻類	0	2	0	12	0	2	0	12
動物プランクトン	ユーグレナ藻類	1	6	0	12	3	22	0	12
	鞭毛虫類	0	2	0	12	0	4	0	12
	根足虫類	0	0	0	12	0	3	0	12
	繊毛虫類	0	2	0	12	1	4	0	12
	ワムシ類	1	4	0	12	3	26	0	12
	線虫類	0	0	0	12	0	0	0	12
その他動物	0	0	0	12	0	0	0	12	
生物総数	2,400	5,100	460	12	2,200	5,400	900	12	

芦田川流域の月別生物総数

(個/mL)



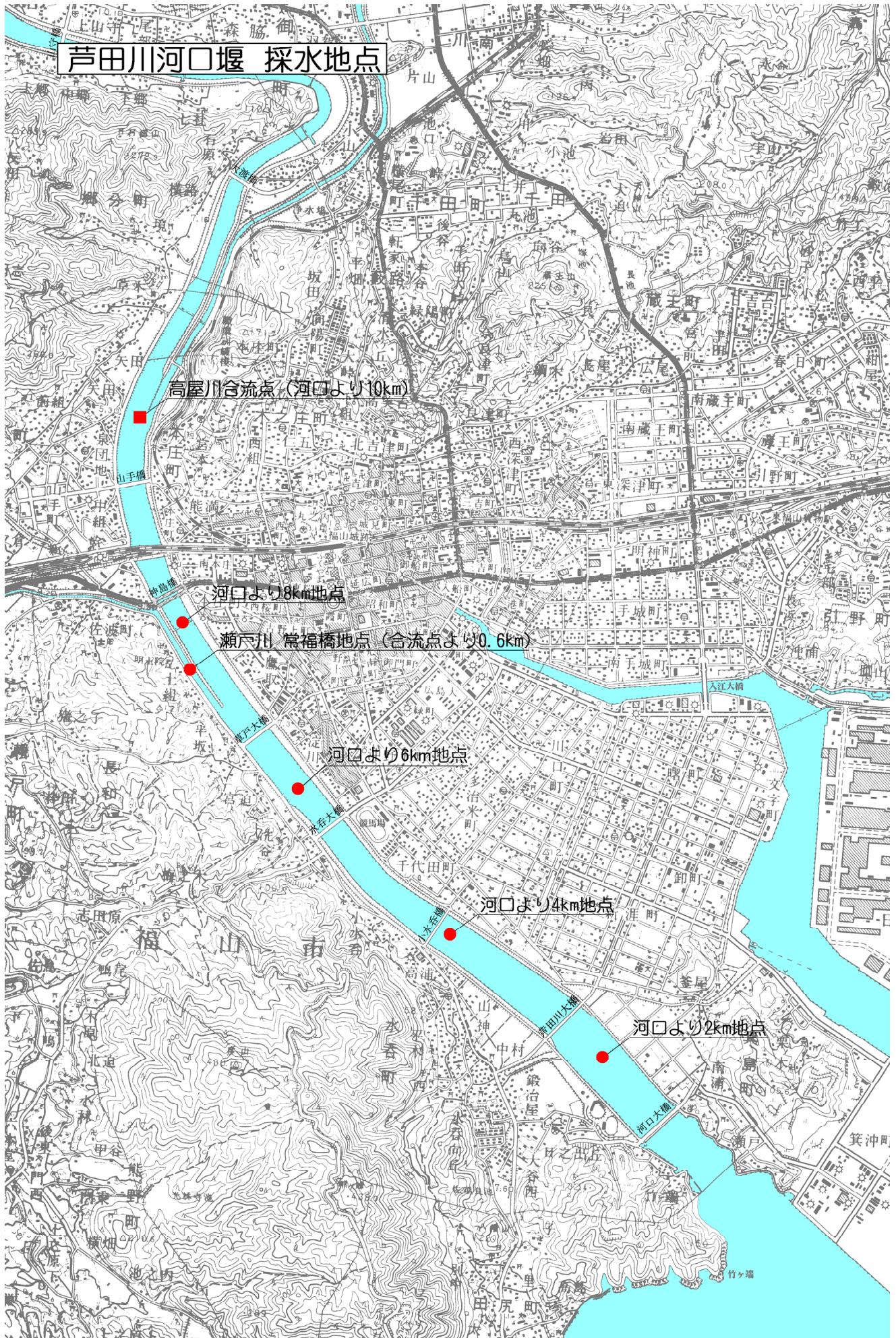
2章 芦田川河口堰

2-1 概要

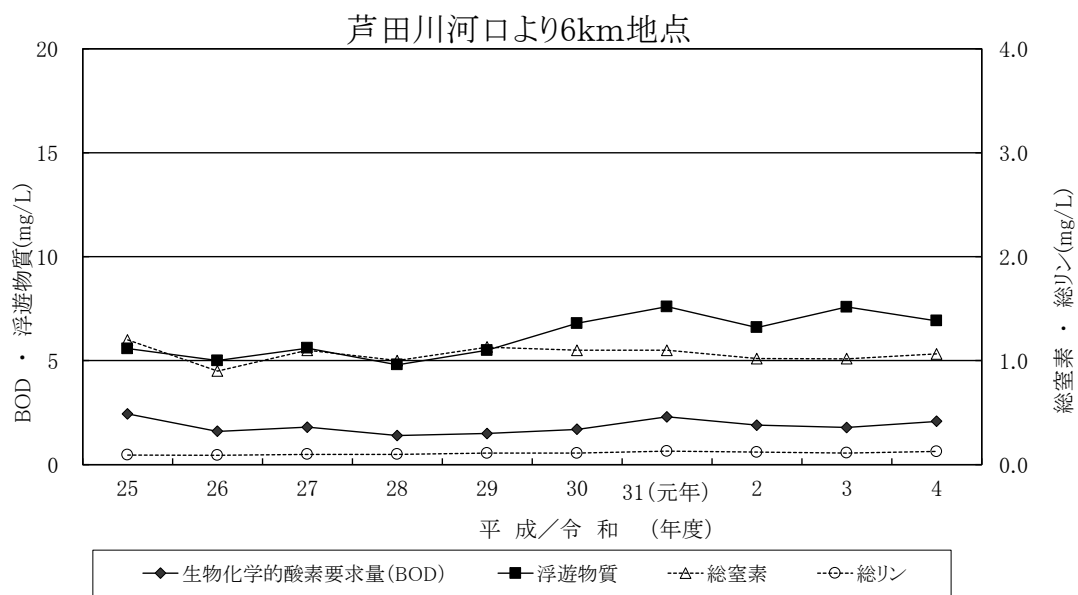
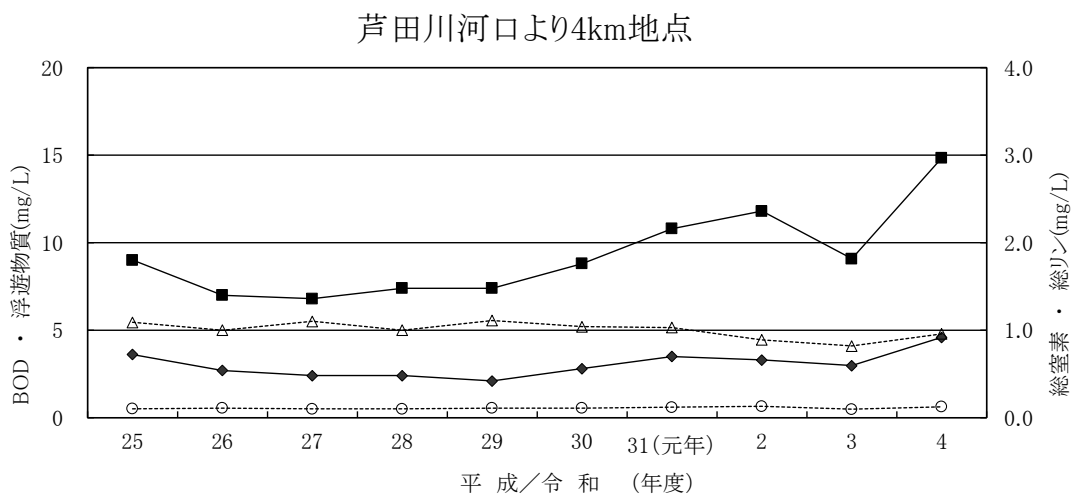
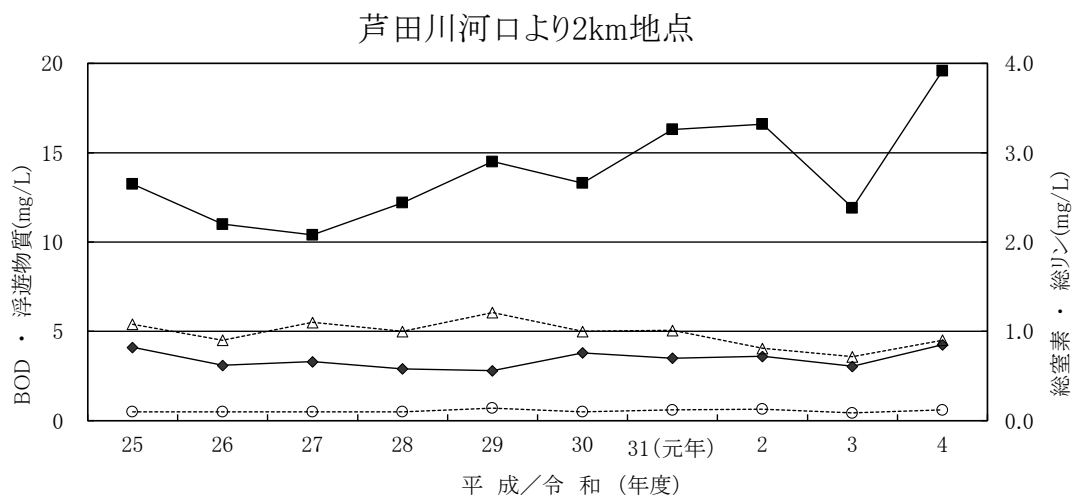
芦田川河口堰は、治水と利水の多目的堰として1981年(昭和56年)6月に完成した、ゲート10門を有する全長450mの可動堰です。洪水の流下に必要な河積の確保と海水による塩害防止を図っています。また、河川維持流量として河口から海域に流出していた淡水の有効利用のために170,000m³/日の工業用水水源を開発し、工業・都市の発展に寄与しています。

事業の経過

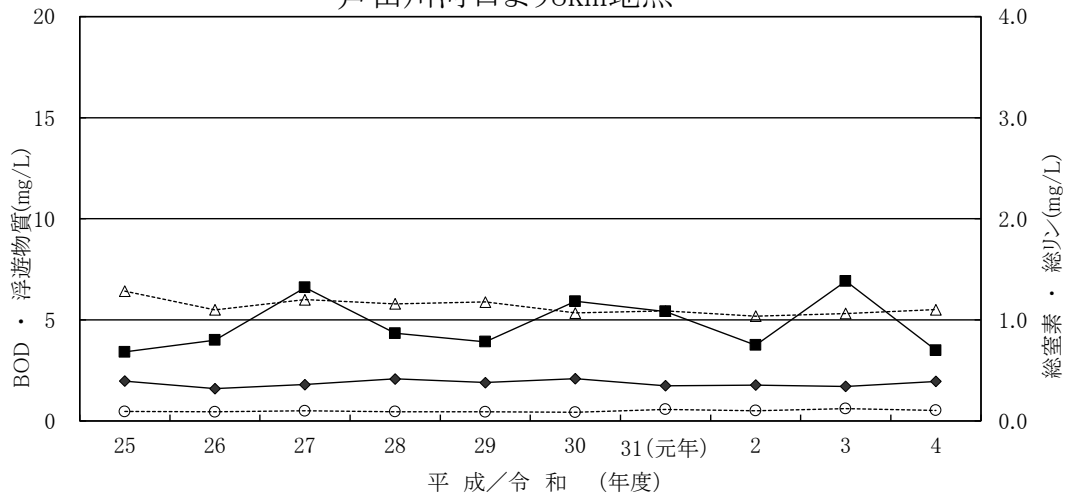
- | | |
|--------------------|------------------------|
| ■ 1965年(昭和40年) | 予備調査 |
| ■ 1969年(昭和44年) | 多目的ダム建設事業費により実施計画調査に着手 |
| ■ 1972年(昭和47年) 6月 | 河口堰建設工事に着手 |
| ■ 1976年(昭和51年) 12月 | 河口堰竣工 |
| ■ 1977年(昭和52年) 3月 | 湛水試験開始 |
| ■ 1978年(昭和53年) 4月 | 工業用水の給水開始 |



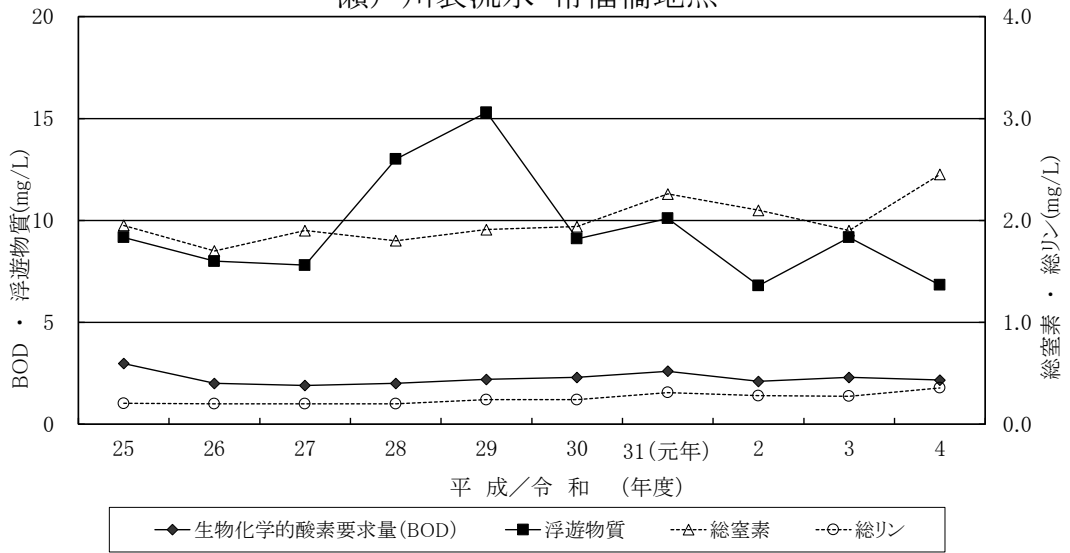
2-2 経年変化



芦田川河口より8km地点



瀬戸川表流水・常福橋地点



◆ 生物化学的酸素要求量(BOD) ■ 浮遊物質 ▲ 総窒素 ○ 総リン

2-3 水質検査結果

項目	芦田川											
	河口より2km地点				河口より4km地点				河口より6km地点			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水温	18.0	31.3	4.5	12	18.1	31.6	4.5	12	18.3	32.4	5.3	12
pH値	9.2	9.9	8.3	12	9.2	9.7	7.9	12	8.4	9.3	7.9	12
溶存酸素									11	13	6.9	12
生物学的酸素要求量	4.3	8.8	2.0	12	4.6	10.0	1.8	12	2.1	4.4	1.0	12
化学的酸素要求量	9.3	22	6.5	12	8.5	20	5.4	12	5.4	7.7	3.7	12
浮遊物質	20	32	14	12	15	29	5	12	7	14	3	12
大腸菌数 (CFU)	4	40	<2	12	4	20	<2	12	33	220	<2	12
亜鉛					0.003	0.004	0.002	4				
鉄	0.3	0.5	0.1	12	0.2	0.3	<0.1	12				
マンガン	0.072	0.11	0.045	12	0.062	0.13	0.039	12				
濁度	12	16	9.7	12	9.6	13	4.5	12	5.0	9.5	2.3	12
総アルカリ度	46	53	37	12	48	55	35	12				
一般細菌	2,200	7,100	170	12	2,500	8,400	220	12				
有機物 (TOC)	3.2	5.6	2.4	12	3.2	5.9	2.4	12				
電気伝導率	17	21	13	12	17	20	13	12				
塩素イオン	13.1	21.3	8.8	12	12.4	17.2	8.2	12				
硫酸イオン	16	20	12	12	16	19	13	12				
総窒素	0.91	1.9	0.61	12	0.98	1.8	0.56	12	1.1	1.6	0.56	12
有機態窒素	0.7	1.8	0.46	12	0.73	1.8	0.41	12	0.47	0.76	0.25	12
アンモニア態窒素	0.02	0.11	<0.01	12	0.01	0.01	<0.01	12	0.05	0.21	<0.01	12
亜硝酸態窒素	0.014	0.039	<0.005	12	0.016	0.035	<0.005	12	0.026	0.043	<0.005	12
硝酸態窒素	0.15	0.31	<0.02	12	0.23	0.63	<0.02	12	0.54	0.96	<0.02	12
溶解性総窒素	0.51	0.78	0.33	12	0.57	0.94	0.32	12	0.93	1.4	0.39	12
溶解性有機態窒素	0.32	0.71	0.21	12	0.32	0.59	0.25	12	0.31	0.40	0.20	12
総リン	0.12	0.28	0.072	12	0.13	0.26	0.080	12	0.13	0.27	0.090	12
溶解性総リン	0.063	0.27	0.016	12	0.059	0.21	0.015	12	0.087	0.13	0.059	12
オルトリン酸態リン	0.068	0.27	0.015	12	0.060	0.21	0.013	12	0.089	0.15	0.061	12
溶解性オルトリン酸態リン												
カリウム	2.9	3.5	2.1	12	2.9	3.6	2.2	12				
陰イオン界面活性剤	<0.01	<0.01	<0.01	12	<0.01	0.01	<0.01	12				
クロロフィル a	88	156	35	12	87	193	18	12	27	60	7.3	12
溶解性ケイ酸	7.2	18	0.2	12	8.0	17	0.8	12				
溶解性生物学的酸素要求量	0.8	1.9	<0.5	12	0.8	1.3	<0.5	12	0.7	1.1	<0.5	12
溶解性化学的酸素要求量	4.8	9.9	3.7	12	4.5	8.3	3.2	12	3.9	5.2	2.9	12

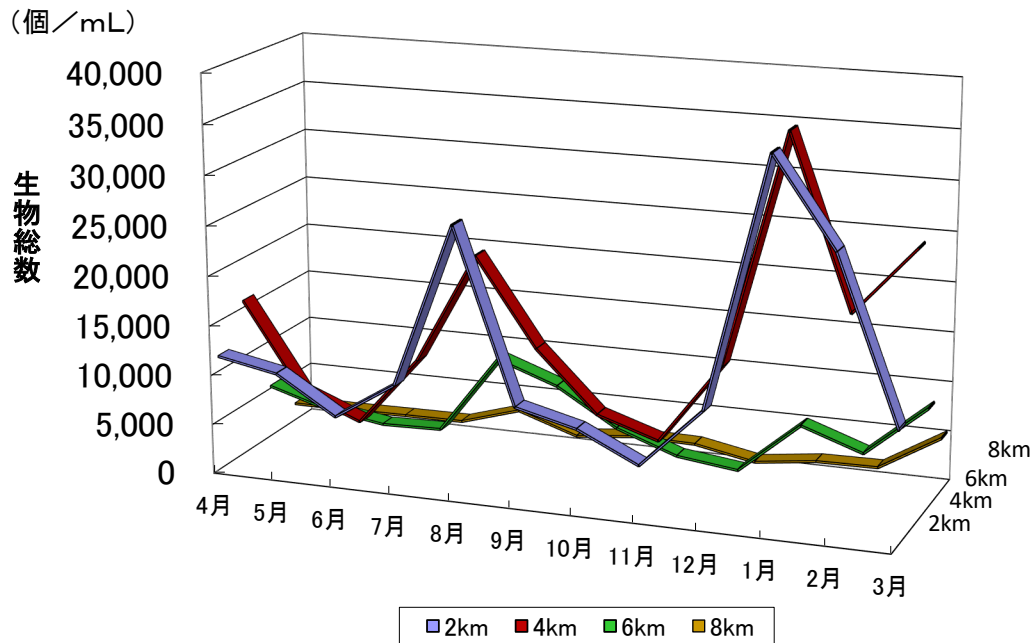
項目	芦田川				瀬戸川			
	河口より8km地点				常福橋(合流点より0.6km)			
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数
水温	18.7	33.7	5.4	12	16.0	26.8	3.0	12
pH値	7.9	8.3	7.6	12	7.9	8.3	7.6	12
溶存酸素	9.2	11	6.9	12	8.3	11	3.7	12
生物学的酸素要求量	2.0	4.0	0.8	12	2.2	4.4	1.0	12
化学的酸素要求量	4.5	6.3	3.1	12	6.5	8.2	4.9	12
浮遊物質	4	8	1	12	7	14	2	12
大腸菌数 (CFU)	110	480	2	12	370	2,000	52	12
亜鉛	0.010	0.015	0.006	4				
鉄	0.2	0.3	<0.1	12	0.3	0.7	0.2	12
マンガン	0.070	0.17	0.031	12	0.10	0.27	0.034	12
濁度	2.7	4.4	1.5	12	4.0	11	1.7	12
総アルカリ度	48	53	37	12	65	84	53	12
一般細菌	12,000	38,000	2,400	12	34,000	81,000	13,000	12
有機物 (TOC)	2.5	3.4	1.8	12	3.4	4.0	2.7	12
電気伝導率	18	21	14	12	26	35	21	12
塩素イオン					19.7	30.4	14.6	12
硫酸イオン	17	20	12	12	24	41	17	12
総窒素	1.1	1.6	0.68	12	2.5	4.6	1.4	12
有機態窒素	0.4	0.71	0.26	12	0.50	1.0	0.32	12
アンモニア態窒素	0.08	0.17	0.02	12	0.43	1.3	0.04	12
亜硝酸態窒素	0.027	0.036	0.013	12	0.107	0.191	0.054	12
硝酸態窒素	0.60	0.97	0.20	12	1.5	2.1	0.79	12
溶解性総窒素	1.1	1.5	0.67	12	2.3	4.4	1.4	12
溶解性有機態窒素	0.35	0.61	0.18	12	0.32	0.70	<0.01	12
総リン	0.11	0.14	0.063	12	0.36	0.56	0.26	12
溶解性総リン	0.087	0.12	0.046	12	0.29	0.37	0.22	12
オルトリン酸態リン	0.086	0.11	0.045	12	0.31	0.39	0.25	12
溶解性オルトリン酸態リン								
カリウム	3.0	3.3	2.5	12	4.6	5.7	3.5	12
陰イオン界面活性剤	<0.01	0.01	<0.01	12	<0.01	0.03	<0.01	12
クロロフィル a	8.9	21	2.5	12	10	24	2.3	12
溶解性ケイ酸	11	14	8.1	12	17	24	13	12
溶解性生物学的酸素要求量	1.2	2.9	0.5	12	1.1	1.8	0.7	12
溶解性化学的酸素要求量	3.8	5.4	2.9	12	5.7	7.1	4.6	12

2-4 生物検査結果

	河口より2km地点				河口より4km地点				河口より6km地点				
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	
植物プランクトン	藍藻類	2,000	16,000	2	12	1,900	11,000	12	12	200	1,400	2	12
	珪藻類	9,100	33,000	1,200	12	11,000	35,000	1,000	12	3,600	9,700	720	12
	緑藻類	3,300	8,100	400	12	2,900	11,000	950	12	1,500	6,400	270	12
	クリプト藻類	9	84	0	12	13	80	0	12	10	80	0	12
	黄金藻類	2	12	0	12	4	30	0	12	1	6	0	12
	渦鞭藻類	1	4	0	12	6	60	0	12	1	4	0	12
動物プランクトン	ユーグレナ藻類	96	1,000	0	12	81	840	0	12	20	170	0	12
	鞭毛虫類	0	0	0	12	0	2	0	12	0	2	0	12
	根足虫類	0	0	0	12	12	140	0	12	1	15	0	12
	繊毛虫類	11	36	0	12	17	150	0	12	8	25	0	12
	ワムシ類	3	15	0	12	1	4	0	12	1	8	0	12
	線虫類	0	0	0	12	0	0	0	12	0	0	0	12
その他動物	0	0	0	12	0	1	0	12	0	0	0	12	
生物総数	15,000	36,000	5,100	12	16,000	37,000	4,400	12	5,300	11,000	1,800	12	

	河口より8km地点				瀬戸川(常福橋)				
	平均	最高	最低	回数	平均	最高	最低	回数	
植物プランクトン	藍藻類	48	160	0	12	31	110	2	12
	珪藻類	1,500	5,200	260	12	1,700	4,200	450	12
	緑藻類	560	2,200	82	12	670	1,300	130	12
	クリプト藻類	3	12	0	12	5	40	0	12
	黄金藻類	0	1	0	12	1	10	0	12
	渦鞭藻類	0	2	0	12	2	24	0	12
動物プランクトン	ユーグレナ藻類	3	22	0	12	0	2	0	12
	鞭毛虫類	0	4	0	12	0	0	0	12
	根足虫類	0	3	0	12	0	2	0	12
	繊毛虫類	1	4	0	12	1	6	0	12
	ワムシ類	3	26	0	12	0	2	0	12
	線虫類	0	0	0	12	0	0	0	12
その他動物	0	0	0	12	0	0	0	12	
生物総数	2,200	5,400	900	12	2,400	4,900	940	12	

河口地点ごとの月別生物総数



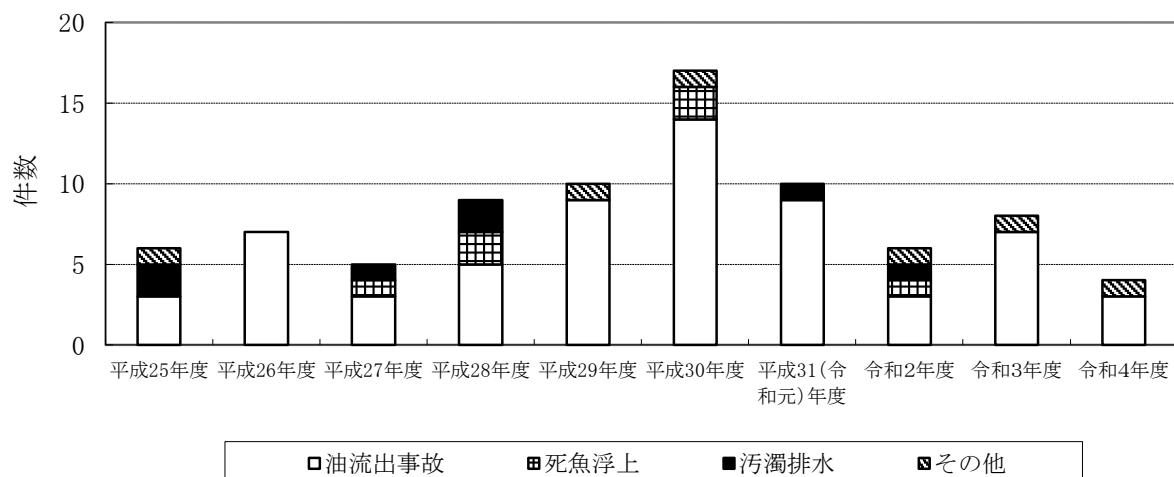
第四編

各種試驗

1 水源汚染（汚濁）事故

令和4年度 水質汚濁及び汚染事故状況

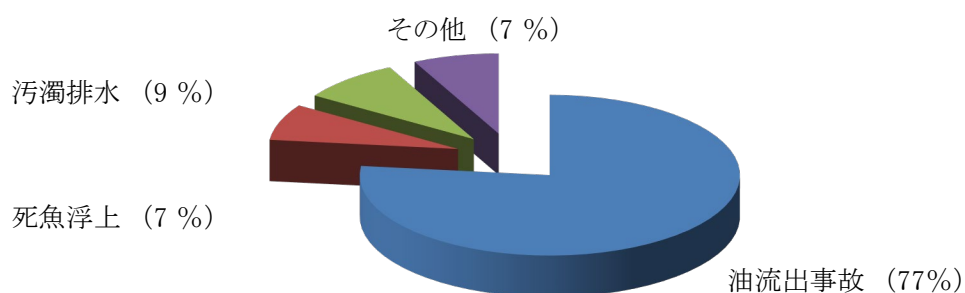
	月 日	事故名	発生地点	事故原因及び処理概要	水道への影響及び対応
1	8月23日	汚泥流出事故	芦田川水系 出口川 (府中市荒谷町)	湧水処理施設から重金属を含む 汚泥流出	影響なしと判断し、浄水場の対応なし。
				現地にて汚泥回収及び 下流域にて水質検査実施	
2	9月2日	油流出事故	高屋川支川 竹田川 (福山市神辺町)	可動堰から機械油流出	影響なしと判断し、浄水場の対応なし。
				現地にてオイルフェンスで処理	
3	9月28日	油流出事故	芦田川水系 瀬戸川 (福山市草戸町)	交通事故	影響なしと判断し、浄水場の対応なし。
				現地にて吸着マットで処理	
4	3月8日	油流出事故	高屋川支川 六間川 (福山市神辺町)	原因不明	影響なしと判断し、浄水場の対応なし。
				現地にて吸着マットで処理	



水質汚濁及び汚染事故発生状況（年度別）

平成25年度～令和4年度（過去10年）水質汚濁及び汚染事故発生状況（件）

年度別	油流出事故	死魚浮上	汚濁排水	その他	合計
平成25年度	3	0	2	1	6
平成26年度	7	0	0	0	7
平成27年度	3	1	1	0	5
平成28年度	5	2	2	0	9
平成29年度	9	0	0	1	10
平成30年度	14	2	0	1	17
平成31(令和元)年度	9	0	1	0	10
令和2年度	3	1	1	1	6
令和3年度	7	0	0	1	8
令和4年度	3	0	0	1	4
合計	63	6	7	6	82



水質汚濁及び汚染事故原因 百分率（累計）

2 市民の請求による給水栓水水質検査

市民から寄せられる相談事項にはさまざまなものがありますが、その中で水質に関するものは水質管理センターで対応しています。

2022年度、水質管理センターでは15件を受け付け、着色・濁りに関するものが4件、臭いや味に関するものが2件、その他異物に関するもの等がありました。

3 依頼による水質検査

	検査の概要	件数
(1)	給水栓水の着色，異物等の水質検査	3
	他課が受付けて現場対応し，検体の持ち込みがあったもの	
(2)	受水槽の通水開始前の水質検査	10
	受水槽の工事完了後，通水開始前に行う検査	
(3)	配水管等工事に伴う給水開始前の水質検査	9
	本市策定の「上水道配水管工事に伴う水質検査実施に係る要綱」に基づく配水管工事施工後の検査及び配水池等の工事に伴う検査	
(4)	漏水判定試験	52
	主にトリハロメタンの検査を実施	
(5)	下水に関する水質検査	212
	水づくり課による特定事業場の立入調査に伴う排水検査や下水処理場の流入水及び放流水の検査	
	計	286

A decorative L-shaped line consisting of a vertical bar on the left and a horizontal line extending to the right, both in black. The word "APPENDIX" is centered between the vertical bar and the horizontal line.

APPENDIX

1 水道水の水質基準

1) 水質基準項目 (51項目)

令和4年4月1日現在

	項目名	基準値	備考	
1	一般細菌	1mLの検水で形成される集落数が 100以下	病原生物	
2	大腸菌	検出されないこと		
3	カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して, 0.003mg/L 以下	無機物質 ・ 重金属	
4	水銀及びその化合物	水銀の量に関して, 0.0005mg/L 以下		
5	セレン及びその化合物	セレンの量に関して, 0.01mg/L 以下		
6	鉛及びその化合物	鉛の量に関して, 0.01mg/L 以下		
7	ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して, 0.01mg/L 以下		
8	六価クロム化合物	六価クロムの量に関して, 0.02mg/L 以下		
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L 以下		
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して, 0.01mg/L 以下		
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L 以下		
12	フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して, 0.8mg/L 以下		
13	ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して, 1.0mg/L 以下		
14	四塩化炭素	0.002mg/L 以下		有機 ・ 化学物質
15	1, 4-ジオキサン	0.05mg/L 以下		
16	シス-1, 2-ジクロロエチレン 及び トランス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下		
17	ジクロロメタン	0.02mg/L 以下		
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下		
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下		
20	ベンゼン	0.01mg/L 以下		
21	塩素酸	0.6mg/L 以下		
22	クロロ酢酸	0.02mg/L 以下		
23	クロロホルム	0.06mg/L 以下		
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L 以下	消毒副生成物	
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/L 以下		
26	臭素酸	0.01mg/L 以下		
27	総トリハロメタン	0.1mg/L 以下		
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L 以下		
29	ブromジクロロメタン	0.03mg/L 以下		
30	ブromホルム	0.09mg/L 以下		
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L 以下		
32	亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して, 1.0mg/L 以下		金属類
33	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して, 0.2mg/L 以下		
34	鉄及びその化合物	鉄の量に関して, 0.3mg/L 以下		
35	銅及びその化合物	銅の量に関して, 1.0mg/L 以下		
36	ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して, 200mg/L 以下		
37	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して, 0.05mg/L 以下	金属類	

38	塩化物イオン	200mg/L 以下	無機物質
39	カルシウム, マグネシウム等(硬度)	300mg/L 以下	
40	蒸発残留物	500mg/L 以下	
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L 以下	有機物質
42	ジェオスミン	0.00001mg/L 以下	臭い
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L 以下	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L 以下	有機物質
45	フェノール類	フェノールの量に換算して, 0.005mg/L 以下	
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L 以下	
47	pH値	5.8 以上 8.6 以下	基礎的性状
48	味	異常でないこと	
49	臭気	異常でないこと	
50	色度	5度 以下	
51	濁度	2度 以下	

2) 水質管理目標設定項目(27項目)

	項目名	目標値	備考
1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して, 0.02mg/L 以下	金属類
2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して, 0.002mg/L 以下(暫定)	
3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して, 0.02mg/L 以下	
4			
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下	有機物質
6			
7			
8	トルエン	0.4mg/L 以下	無機物質
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/L 以下	
10	亜塩素酸	0.6mg/L 以下	
11			
12	二酸化塩素	0.6mg/L 以下	消毒副生成物
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L 以下(暫定)	
14	抱水クロラール	0.02mg/L 以下(暫定)	
15	農薬類	検出値と目標値の比の和として, 1 以下	農薬
16	残留塩素	1mg/L 以下	臭い
17	カルシウム, マグネシウム等(硬度)	10mg/L 以上 100mg/L 以下	無機物質
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して, 0.01mg/L 以下	金属類
19	遊離炭酸	20mg/L 以下	味覚
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L 以下	有機物質
21	メチル-t-ブチルエーテル	0.02mg/L 以下	
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L 以下	
23	臭気強度(TON)	3 以下	臭い
24	蒸発残留物	30mg/L 以上 200mg/L 以下	味覚
25	濁度	1度 以下	濁り
26	pH値	7.5 程度	腐食性
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1 程度以上とし, 極力 0 に近づける	
28	従属栄養細菌	1mLの検水で形成される集落数が 2,000以下(暫定)	消毒の効果
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下	有機物質
30	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して, 0.1mg/L 以下	金属類
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	PFOS及びPFOAの量の和として 0.00005mg/L(暫定)	有機物質

農薬類（水質管理目標設定項目 15）の対象農薬リスト

	項目名	目標値
1	1,3-ジクロロプロベン(D-D)	0.05mg/L以下
2	2,2-DPA(ダラボン)	0.08mg/L以下
3	2,4-D(2,4-PA)	0.02mg/L以下
4	EPN	0.004mg/L以下
5	MCPA	0.005mg/L以下
6	アシュラム	0.9mg/L以下
7	アセフェート	0.006mg/L以下
8	アトラジン	0.01mg/L以下
9	アニロホス	0.003mg/L以下
10	アミトラズ	0.006mg/L以下
11	アラクロール	0.03mg/L以下
12	イソキサチオン	0.005mg/L以下
13	イソフェンホス	0.001mg/L以下
14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01mg/L以下
15	イソプロチオラン(IPT)	0.3mg/L以下
16	イブフェンカルバゾン	0.002mg/L以下
17	イプロベンホス(IBP)	0.09mg/L以下
18	イミノクタジン	0.006mg/L以下
19	インダノファン	0.009mg/L以下
20	エスプロカルブ	0.03mg/L以下
21	エトフェンブロックス	0.08mg/L以下
22	エンドスルファン(ベンゾエビン)	0.01mg/L以下
23	オキサジクロメホン	0.02mg/L以下
24	オキシ銅(有機銅)	0.03mg/L以下
25	オリサストロビン	0.1mg/L以下
26	カズサホス	0.0006mg/L以下
27	カフェンストール	0.008mg/L以下
28	カルタップ	0.08mg/L以下
29	カルバリル(NAC)	0.02mg/L以下
30	カルボフラン	0.0003mg/L以下
31	キノクラミン(ACN)	0.005mg/L以下
32	キャプタン	0.3mg/L以下
33	クミルロン	0.03mg/L以下
34	グリホサート	2mg/L以下
35	グルホシネート	0.02mg/L以下
36	クロメブロップ	0.02mg/L以下
37	クロルニトロフェン(CNP)	0.0001mg/L以下
38	クロルピリホス	0.003mg/L以下
39	クロタロニル(TPN)	0.05mg/L以下
40	シアナジン	0.001mg/L以下
41	シアノホス(CYAP)	0.003mg/L以下
42	ジウロン(DCMU)	0.02mg/L以下
43	ジクロベニル(DBN)	0.03mg/L以下
44	ジクロルボス(DDVP)	0.008mg/L以下
45	ジクワット	0.01mg/L以下
46	ジスルホトン(エチルチオメトン)	0.004mg/L以下
47	ジチオカルバメート系農薬	0.005mg/L以下
48	ジチオピル	0.009mg/L以下
49	シハロホップチル	0.006mg/L以下
50	シマジン(CAT)	0.003mg/L以下
51	ジメタメトリン	0.02mg/L以下
52	ジメトエート	0.05mg/L以下
53	シメトリン	0.03mg/L以下
54	ダイアジン	0.003mg/L以下
55	ダイムロン	0.8mg/L以下
56	ダゾメット,メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01mg/L以下
57	チアジニル	0.1mg/L以下
58	チウラム	0.02mg/L以下
59	チオジカルブ	0.08mg/L以下
60	チオファネートメチル	0.3mg/L以下

	項目名	目標値
61	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
62	テフリトリオン	0.002mg/L以下
63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02mg/L以下
64	トリクロピル	0.006mg/L以下
65	トリクロルホン(DEP)	0.005mg/L以下
66	トリシクラゾール	0.1mg/L以下
67	トリフルラリン	0.06mg/L以下
68	ナプロバミド	0.03mg/L以下
69	バラコート	0.005mg/L以下
70	ピペロホス	0.0009mg/L以下
71	ピラクロニル	0.01mg/L以下
72	ピラゾキシフェン	0.004mg/L以下
73	ピラゾリネート(ピラゾレート)	0.02mg/L以下
74	ピリダフェンチオン	0.002mg/L以下
75	ピリプチカルブ	0.02mg/L以下
76	ピロキロン	0.05mg/L以下
77	フィプロニル	0.0005mg/L以下
78	フェニトロチオン(MEP)	0.01mg/L以下
79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03mg/L以下
80	フェリムゾン	0.05mg/L以下
81	フェンチオン(MPP)	0.006mg/L以下
82	フェントエート(PAP)	0.007mg/L以下
83	フェントラザミド	0.01mg/L以下
84	フサライド	0.1mg/L以下
85	ブタクロール	0.03mg/L以下
86	ブタミホス	0.02mg/L以下
87	ブプロフェジン	0.02mg/L以下
88	フルアジナム	0.03mg/L以下
89	プレチラクロール	0.05mg/L以下
90	プロシミドン	0.09mg/L以下
91	プロチオホス	0.007mg/L以下
92	プロピコナゾール	0.05mg/L以下
93	プロピザミド	0.05mg/L以下
94	プロベナゾール	0.03mg/L以下
95	プロモブチド	0.1mg/L以下
96	ベノミル	0.02mg/L以下
97	ペンシクロン	0.1mg/L以下
98	ベンゾピシクロン	0.09mg/L以下
99	ベンゾフェナップ	0.005mg/L以下
100	ベンタゾン	0.2mg/L以下
101	ベンディメタリン	0.3mg/L以下
102	ベンフルカルブ	0.02mg/L以下
103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01mg/L以下
104	ベンフレセート	0.07mg/L以下
105	ホスチアゼート	0.005mg/L以下
106	マラチオン(マラソン)	0.7mg/L以下
107	メコブロップ(MCPP)	0.05mg/L以下
108	メソミル	0.03mg/L以下
109	メタラキシル	0.2mg/L以下
110	メチダチオン(DMTP)	0.004mg/L以下
111	メミノストロビン	0.04mg/L以下
112	メトリブジン	0.03mg/L以下
113	メフェナセート	0.02mg/L以下
114	メプロニル	0.1mg/L以下
115	モリネート	0.005mg/L以下

2 水質汚濁に係る環境基準

人の健康の保護に関する環境基準(27項目)

項目名	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下
ヒ素	0.01mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
チウラム	0.006mg/L以下
シマジン	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	0.02mg/L以下
ベンゼン	0.01mg/L以下
セレン	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
ふっ素	0.8mg/L以下
ほう素	1mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下

水質要監視項目(27項目)

項目名	指針値
クロロホルム	0.06mg/L以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06mg/L以下
p-ジクロロベンゼン	0.2mg/L以下
イソキサチオン	0.008mg/L以下
ダイアジノン	0.005mg/L以下
フェニトロチオン(MEP)	0.003mg/L以下
イソプロチオラン	0.04mg/L以下
オキシ銅(有機銅)	0.04mg/L以下
クロロタロニル(TPN)	0.05mg/L以下
プロピザミド	0.008mg/L以下
EPN	0.006mg/L以下
ジクロルボス(DDVP)	0.008mg/L以下
フェノブカルブ(BPMC)	0.03mg/L以下
イプロベンホス(IBP)	0.008mg/L以下
クロルニトロフェン(CNP)	—
トルエン	0.6mg/L以下
キシレン	0.4mg/L以下
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06mg/L以下
ニッケル	—
モリブデン	0.07mg/L以下
アンチモン	0.02mg/L以下
塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下
エピクロロヒドリン	0.0004mg/L以下
全マンガン	0.2mg/L以下
ウラン	0.002mg/L以下
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005mg/L以下(暫定)

備考

- 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、測定方法の項に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- 4 省略

ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁及び土壌の汚染に係る環境基準

項目名	基準値※
ダイオキシン類	1pg-TEQ/L以下

※ 媒体が水質のものについて

備考

- 1 基準値は2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。
- 2 大気及び水質の基準値は、年間平均値とする。

(1) 河川（湖沼を除く）

ア

項目 類型	利用目的の適応性	基準値					該当水域
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上8.5以下	1 mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	20CFU /100mL以下 備考4	第1の2の(2) により水域類型 ごとに指定する 水域
A	水道2級 水産1級及び 水浴及び B以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	2 mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下	
B	水道3級 水産2級及び C以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	3 mg/L以下	25mg/L以下	5 mg/L以上	1,000CFU /100mL以下	
C	水産3級 工業用水1級及び D以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	5 mg/L以下	50mg/L以下	5 mg/L以上	—	
D	工業用水2級 農業用水及び Eの欄に掲げるもの	6.0以上8.5以下	8 mg/L以下	100mg/L以下	2 mg/L以上	—	
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が 認められないこと	2 mg/L以上	—	

備考 1 基準値は、日間平均値とする。ただし、大腸菌数に係る基準値については、90%水質値(年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べた際の0.9×n番目(nは日間平均値のデータ数)のデータ値(0.9×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。))とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)
 2 農業利用水点については、水素イオン濃度 6.0以上7.5以下、溶存酸素量 5mg/L以上とする(湖沼もこれに準ずる。)
 3 水質自動監視測定装置とは、当該項目について自動的に計測することができる装置であって、計測結果を自動的に記録する機能を有するもの又はその機能を有する機器と接続されているものをいう(湖沼、海域もこれに準ずる。)
 4 水道1級を利用目的としている地点(自然環境保全を利用目的としている地点を除く。)については、大腸菌数100CFU/100mL以下とする。
 5 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、大腸菌数の項目の基準値は適用しない(湖沼、海域もこれに準ずる。)
 6 大腸菌数に用いる単位はCFU(コロニー形成単位(Colony Forming Unit))/100mLとし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 " 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 " 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産 1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 " 2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 " 3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
 4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 " 2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 " 3級：特殊の浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値			該当水域
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	ノニルフェノール	全亜鉛	
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下	第1の2の(2) により水域類型 ごとに指定する 水域
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.02mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.03mg/L以下	
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.05mg/L以下	0.002mg/L以下	0.03mg/L以下	
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.04mg/L以下	0.002mg/L以下	0.03mg/L以下	

備考 1 基準値は、年間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

(2) 湖沼（天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖）

ア

項目 類型	利用目的の適応性	基準値					該当水域
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素 要求量(COD)	浮遊物質 量(SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌数	
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全 及びA以下の欄 に掲げるもの	6.5以上8.5以下	1mg/L以下	1mg/L以下	7.5mg/L以上	20CFU /100mL以下 備考2	第1の2の(2) により水域類型 ごとに指定する 水域
A	水道2,3級水産2級水浴及び B以下の欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下 備考3	
B	水産3級 工業用水1級 農業用水及び Cの欄に掲げるもの	6.5以上8.5以下	5mg/L以下	15mg/L以下	5mg/L以上	—	
C	工業用水2級 環境保全	6.0以上8.5以下	8mg/L以下	ごみ等の浮遊が 認められないこと	2mg/L以上	—	

- 備考 1 水産1級、水産2級および水産3級については、当分の間、SSの項目の基準値は適用しない。
 2 水道1級を利用目的としている地点については、大腸菌数100CFU/100mL以下とする。
 3 水道3級を利用目的としている地点については、大腸菌数1,000CFU/100mL以下とする。
 4 大腸菌数に用いる単位はCFU(コロニー形成単位(Colony Forming Unit))/100mLとし、大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出する。

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境の保全
 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道 2, 3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、または、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3 水産 1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用ならびに水産2級および水産3級の水産生物用
 " 2級：サケ科魚類およびアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用ならびに水産3級の水産生物用
 " 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
 4 工業用水 1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 " 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、または、特殊な浄水操作を行うもの
 5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

項目 類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全リン	
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1mg/L以下	0.005mg/L以下	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
II	水道1,2,3級(特殊なものを除く)水産1種水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2mg/L以下	0.01 mg/L以下	
III	水道3級(特殊なもの)及びIV以下の欄に掲げるもの	0.4mg/L以下	0.03 mg/L以下	
IV	水産2種及びVの欄に掲げるもの	0.6mg/L以下	0.05 mg/L以下	
V	水産3種工業用水農業用水環境保全	1 mg/L以下	0.1 mg/L以下	

- 備考 1 基準値は年間平均値とする。
 2 水域類型の指定は、湖沼植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある湖沼について行うものとし、全窒素の項目の基準値は、全窒素が湖沼植物プランクトンの増殖の要因となる湖沼について適用する。
 3 農業用水については、全リンの項目の基準値は適用しない。

- (注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 " 2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 " 3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 (「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう)
 3 水産 1種：サケ科魚類及びアユ等の水産生物用ならびに水産2種および3種の水産生物用
 " 2種：ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
 " 3種：コイ、フナ等の水産生物用
 4 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値			該当水域
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	ノニルフェノール	全亜鉛	
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.02mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.03mg/L以下	
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.05mg/L以下	0.002mg/L以下	0.03mg/L以下	
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.04mg/L以下	0.002mg/L以下	0.03mg/L以下	

項目 類型	水生生物が生息・再生産する場の適応性	基準値	該当水域
		底層溶存酸素量	
生物1	生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生産する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生産する水域	4.0mg/L以上	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
生物2	生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生産する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生産する水域	3.0mg/L以上	
生物3	生息段階において貧酸素耐性の高い水生生物が生息できる場を保全・再生産する水域、再生産段階において貧酸素耐性の高い水生生物が再生産できる場を保全・再生産する水域又は無生物域を解消する水域	2.0mg/L以上	

- 備考 1 基準値は、日間平均値とする。
 2 底面近傍で溶存酸素量の変化が大きいことが想定される場合の採水には、横型のバンドン採水器を用いる。

3 環境基準水域類型指定

河川

広島県告示 125 号(昭和 48 年 2 月 27 日)
(平成 17 年 4 月 25 日変更)

水 域	該当類型	達成期間
芦田川上流 (府中大橋より上流であって三川ダム貯水池の水域及び八田原ダム貯水池の水域に係る部分を除いたもの)	河川A	イ
芦田川中流 (1) (府中大橋より高屋川合流点まで)	河川A	ロ
芦田川中流 (2) (高屋川合流点より瀬戸川合流点まで)	河川A	ハ
芦田川下流 (瀬戸川合流点より下流)	河川B	ハ
御調川 (全域)	河川A	イ
高屋川中流 (岡山県との県境から J R 福塩線橋梁まで)	河川A	イ
高屋川下流 (J R 福塩線橋梁から芦田川合流点まで)	河川B	ハ
瀬戸川上流 (瀬戸池堰堤より上流)	河川A	イ
瀬戸川下流 (瀬戸池堰堤から芦田川合流点まで)	河川B	ハ

湖沼

広島県告示 609 号(平成 17 年 4 月 25 日)
(平成 24 年 11 月 1 日変更)

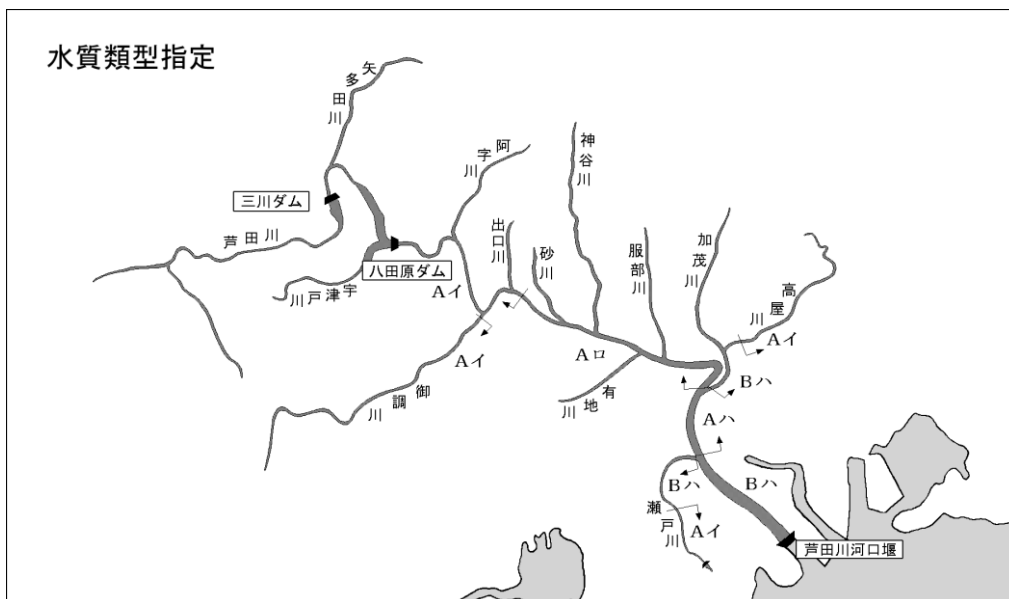
水 域	該当類型	達成期間	暫定目標
三川ダム貯水池 (神農湖) (全域)	湖沼A	ハ	
	湖沼Ⅲ(全窒素の項目の基準値を除く。)	イ	
八田原ダム貯水池 (芦田湖) (全域)	湖沼A	イ	
	湖沼Ⅲ(全窒素の項目の基準値を除く。)	ハ	

(注) 達成期間の分類

「イ」は、直ちに達成

「ロ」は、5年以内で可及的すみやかに達成

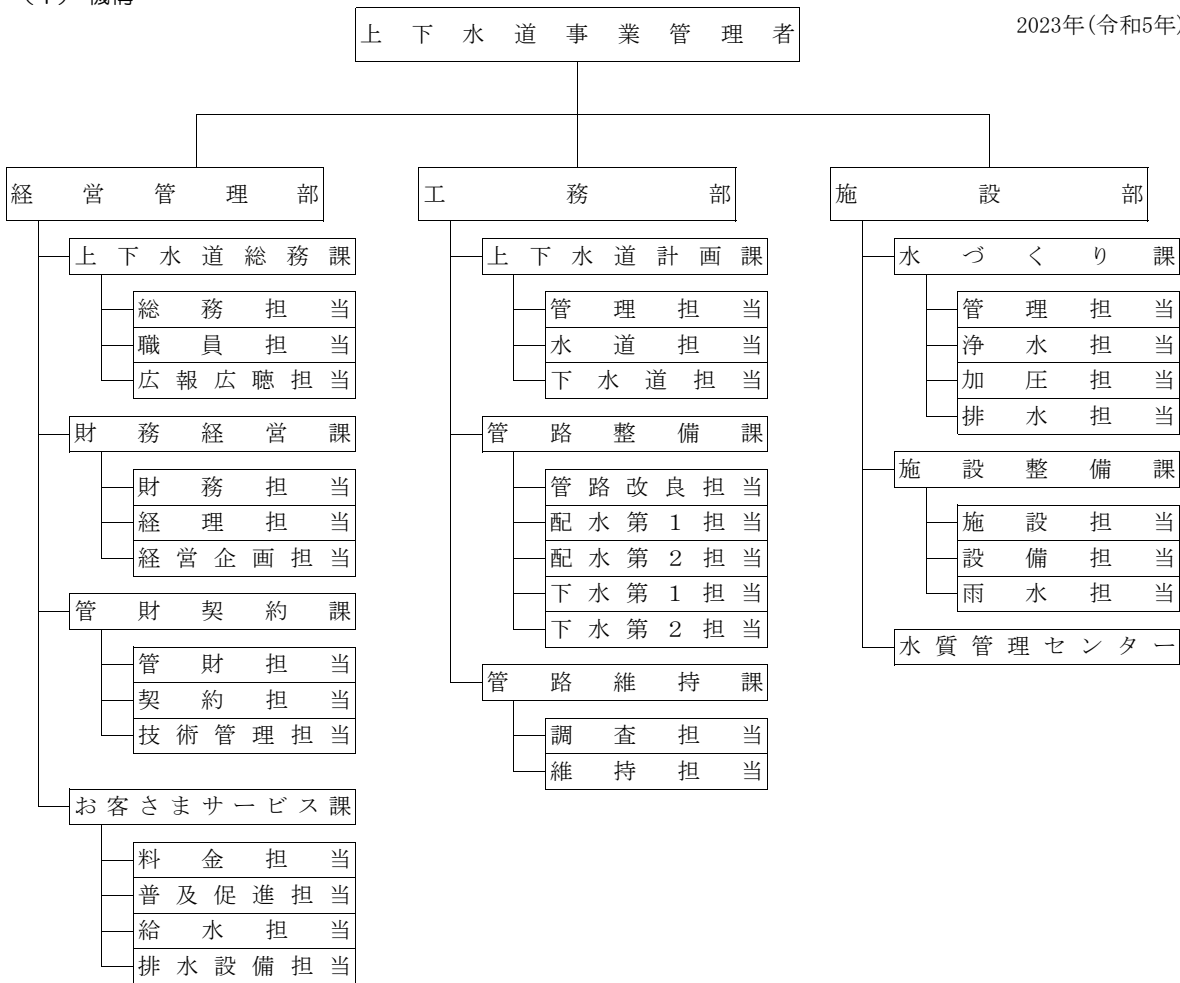
「ハ」は、5年を超える期間で可及的すみやかに達成



4 機構及び水質管理センター事務分掌

(1) 機構

2023年(令和5年)4月1日現在



(2) 水質管理センター事務分掌

- 1 浄水処理過程及び給配水系統の水質管理に関すること。
- 2 水源水域の水質調査に関すること。
- 3 水質汚濁防止に関すること。
- 4 水質及び技術改善の研究に関すること。
- 5 放流水の水質検査に関すること。
- 6 センターの予算及び資産の維持管理に関すること。
- 7 センターの庶務及び統計に関すること。

2023年度(令和5年度)版

水 質 試 験 報 告 書

(2022. 4. 1～2023. 3. 31)

発行 福山市上下水道局施設部水質管理センター

〒720-0004 福山市御幸町中津原 158

TEL 084(955)1144

FAX 084(955)4990

E-mail suishitsu@city.fukuyama.hiroshima.jp